



# Fall Dungeon

～淫雌に堕ちゆく  
破滅と凌辱の洞窟～ 前編

ジ…………ジジ…………

「ひひ……………ここにいんのは  
洞窟で捕らえたヤツらか？」

「ああ 探索中のを  
捕まえて調教したら  
外で売りさばくんだよ」

ジジ…………

「ニンゲンに魔族に  
けっこういるもんだなあ」

「命知らずは種族を  
越えてバカばつかときたもんだ……………」

ジ……………

ガチヤン!

今すぐ解放なさい  
高貴なる余にこの不敬  
国が黙っておりませんよ

なんだあ あのデブ?

どござの王妃様だとさ  
仕掛け罠にかかってたんだよ。

王妃い? ……ひひ

みつともねえ牛乳ぶらさげてよく言うぜ  
あんなデカ乳首 貧民街の娼婦でもいやしねえ



あつ あうう はやく  
はやくおっぱい搾ってください

あーはいはい  
そう急かすなって元女戦士さんよ

……………ッ 本来  
このような下賤の者たちと  
並べるだけでも  
極刑に値するのですよ

そんじゃ仕事だ仕事  
まず新品は家畜用に  
乳房改造だな 触手は……

そなた 聞いているのですか  
これ以上の狼藉は許され……………ッ!  
ななにをッ!





うッ！ ぐああああッ！  
体のなかに……！

き 気持ち悪い！  
体の中に入り込んでえ！  
今すぐこれを外しなさいっ！！

おい 他のやつらにその  
搾乳器つけてやれ

ういっ

余の言うことを  
聞きなさい下衆共！  
ひいひい いやッ お 奥う  
胸が浸蝕されていくううう！

いやだいやだ 乳の奥が  
熱くてたまらない！ ううぐっ！  
富か！ 名声か！ 欲するものがあればああ  
やあああッ あッ あッ ああああああああッ！

ツ  
ツ  
...

ドグン ドグン……

お待ちかねの搾乳タイムだ  
おら ちやーんと搾りだせよ

ややらあ……  
お願いもうやめてえ……

言つとくが 乳の出が  
悪くなったやつから  
出荷だからなあ

ひっ……

うなんかくっせえな  
なんだあ……おいおい  
このデブ 漏らしてやがるぞ



……ちババアがよ  
漏らすし体臭きつついし  
こいつもう売っぱらっちゃうか？

ごめんなさいごめんなさい！！  
もう粗相しませんから……！！  
許してください  
お願いです  
優しくしてください……

はっ いいザマだぜ  
だが家畜の分際で人語を  
話すなんておかしくねえかあ？  
なあ  
お前もそう思うだろう？

え……？





お母さま……

あ…… ああ……

ああなた……

あんたの娘さんだろう？  
つまりお姫様ってわけだ  
そんで……

あぐっ！  
お尻が……！

やめて！ その子に  
酷いことをしないで！

おいおいおい……  
俺あ言わなかったか？  
家畜の豚さんよお

あ…… うう……

ごめ

ぶひぶひいいい  
ぶひぶひいいい  
ぶひぶひいいい  
ぶひぶひいいい  
ぶひぶひいいい  
ぶひぶひいいい  
ぶひぶひいいい  
ぶひぶひいいい  
ぶひぶひいいい  
ぶひぶひいいい

お母さま……っ

ほらいつもみてえに  
おねだりしてみろよ

ぶひぶひいいい  
触手ちゃんほくださいぶひ!  
ふがッ 余の孕み袋をお  
ふごおッ どろどろ精液でッ  
んごごッ ぶごおッ  
いっばいいいっばい  
膨らませてくださいぶひい!



ムッ  
ムッ

ムッ  
ムッ

ムッ  
ムッ



シユルルツッ!

ぎたぎたあッ!  
膺引つ張られるう!  
ぶひッ!

ギユルルル  
あ……ああ……

さこつちに来い  
お前もあのババアと一緒  
に  
ここで生きるんだよ

いやあ……!

ぶひいー!  
んひいひいひいひいー!

ギユルルルル

ガチッ

ガチッ

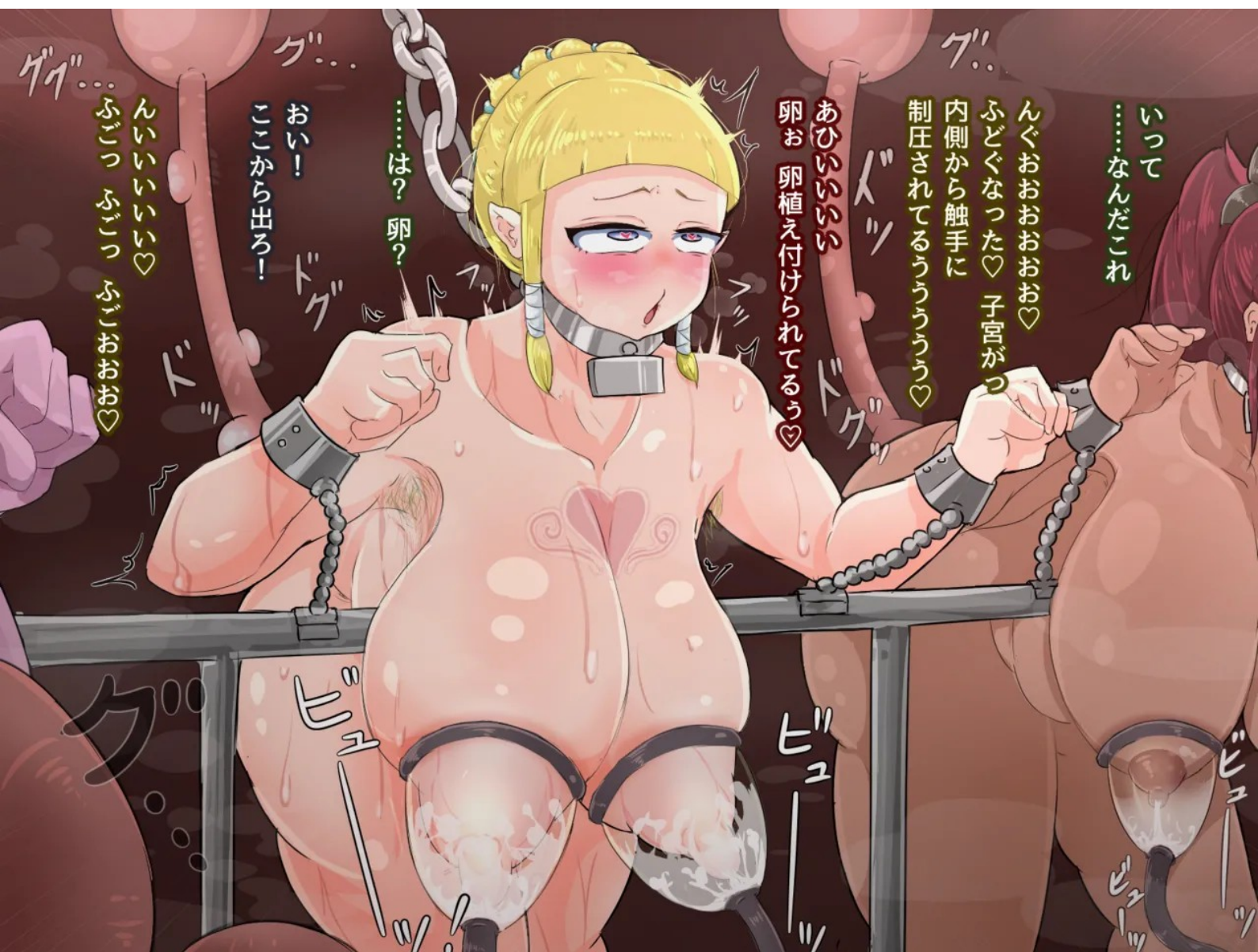
ギユルルル!

ホヒョー!

ビュッ

ビュッ

ごまろ



いって  
……なんだこれ

んぐおおおおお♡  
ふどぐなつた♡ 子宮がっ  
内側から触手に  
制圧されてるうううう♡

あひひひひ  
卵お 卵植え付けられてるう♡

……は？ 卵？

おい！  
ここから出るー！

んひひひひ♡  
ふひひひひひ♡

ググ

グ

グ

ドグ

ドグ

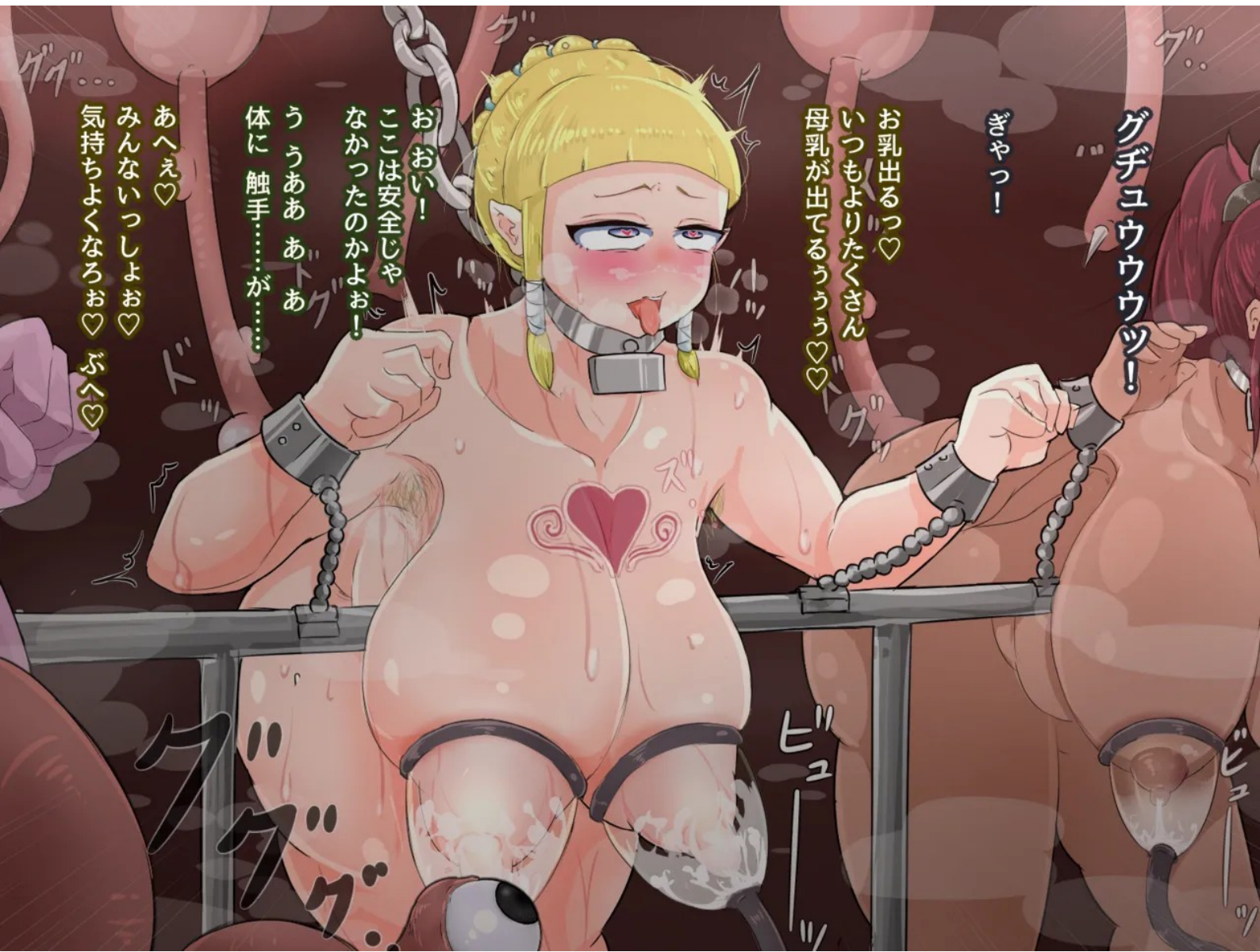
グ

グ

ビュ

ビュ

ビュ



グヂュウウウツ!

びゃっ!

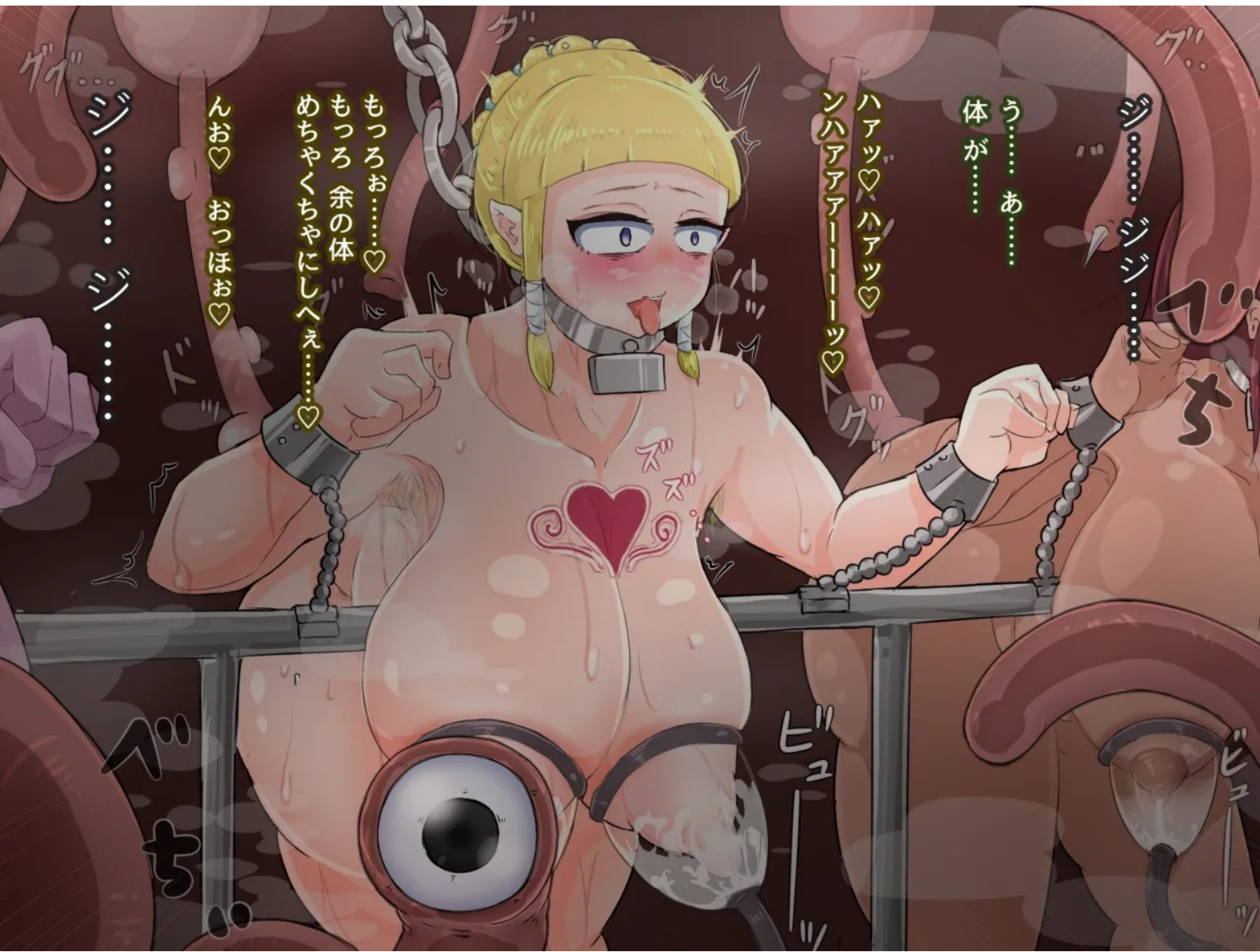
お乳出るっ♡  
いつもよりたくさん  
母乳が出るううう♡♡♡

おおい!  
ここは安全じゃ  
なかったのかよお!  
ううあああトグ  
体に触手……が……

あへえ♡  
みんないっしょお♡  
気持ちよくなろお♡ぶへ♡

ググ  
ググ

ビュ  
ビュ



う……あ……  
体が……

ハアツ♡ハアツ♡  
ンハアアア……♡

もつろお……♡  
もつろ 余の体  
めちやくちやにしへえ……♡

んお♡ おつほお♡

ジジ……ジジ……

ジジ……ジジ……

グッ

ヒュ

ズズ

ズズ

ブ  
ッ  
ン

モニタの接続が切れた

「……参ったな」

溜め息が漏れる  
これでもう三度目だ



あの牧場じみた  
賊のアジトも  
じき壊滅するのだろう

そんな光景を目撃するの  
もう幾度目だった

未開の洞窟……

地上と異なる独自の生態系を

確立しているあの洞穴は

冒険家や研究者の注目的になっている

そして訪れた者を食い物にする  
賊の根城としてもだ



足を踏み入れた者の多くは  
無事に帰ってきて  
いないというのに……

それだというのに  
行ってしまったのだ

私の弟も

もう二週間  
連絡がとれない

チ……チチチ……

術式ドローンの映像を  
分析したカルテが焼ける



あの子の痕跡を捜す  
けれどどこにも見つからない

頭の奥がわずかに痛む

それを押さえつけながら  
私は 新たな偵察機に手をかけた

新興国王妃

ベネラ・アージイン

167cm 74kg

B110 W75 H98

混成種から成る小国の妃。

司令官としての実力も高く

ダンジョンでは攻略の指揮を執る。

毎晩自慰によりストレスを沈めている。

### △状態記録

胸経験：12回 胸感度：C

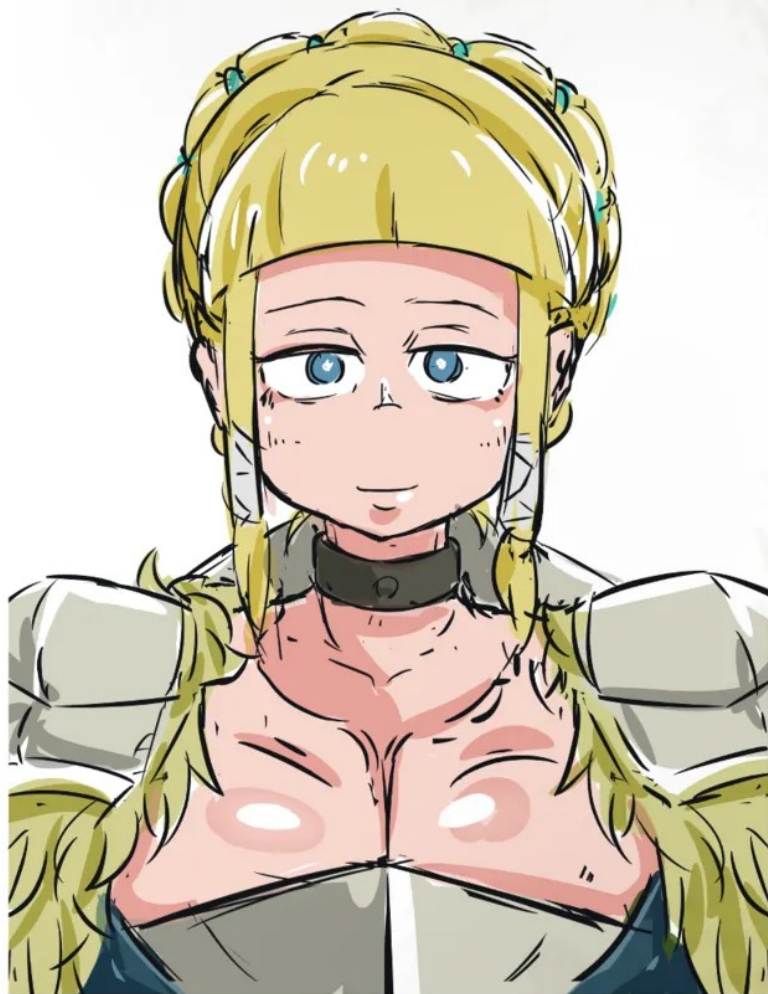
陰経験：165回 陰感度：C

尻経験：16回 尻感度：D

自慰経験：140回

【質実】 【人妻】 【非処女】

【巨乳】 【乳首(大)】 【肥満体型】



繁殖用ミルクタンク

ベネラ・アージイン

167cm 76kg

B124 W76 H98

ダンジョン内の罠に不覚をとり捕縛される。

乳は下品な搾乳サーバーに改造され

滅多に手入れされない股や脇からは

酷い淫臭を放つようになった。

#### △状態記録

胸経験：565回

胸感度：S

陰経験：210回

陰感度：B+

尻経験：20回

尻感度：C

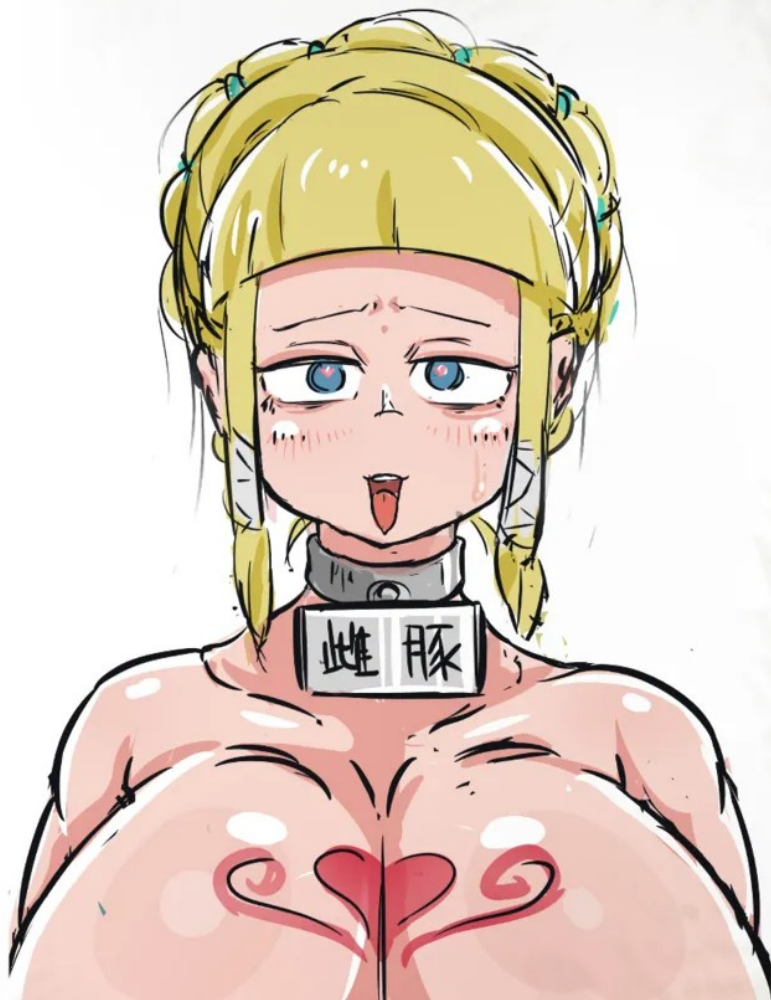
自慰経験：140回

【発情】【家畜】【非処女】

【爆乳】【乳首(大)】【敏感乳首】

【乳腺拡張】【肥満体型】【噴乳体質】

【被虐願望】【淫臭】【淫紋】



伝導魔術師

レーダ・ヒマリア

149cm 54kg

B90 W66 H92

機械に術式を組み込み操作する  
伝導魔術の研究を生業とする少女。  
行方不明になった弟を捜している。

### △状態記録

胸経験： 0回      胸感度：D  
膣経験： 0回      膣感度：D  
尻経験： 0回      尻感度：D  
自慰経験：0回

【冷静】 【処女】

【巨乳】 【陥没乳首】



Now Loading...

## 地質調査員

### ルナ

132cm 38kg

B62 W55 H66

国から派遣された調査員。

大の男嫌いであり、男性職員の  
多い職場には滅多に顔を出さない。

幼児のような外見だがれっきとした成人。

### △状態記録

胸経験： 0回	胸感度：D
陰経験： 1回	陰感度：D+
尻経験： 0回	尻感度：D
自慰経験： 1回	

【神経質】 【男性嫌悪】 【処女】

【貧乳】



ごっは……  
くそっ 畏にかかったのか

アタシとしたことが油断した  
あんな初歩的なトラップも  
見抜けないなんて



うぞぞぞ……

蜘蛛の巣状に糸を張る  
触手モンスター……

喰われるのか  
いやこの動きは  
まさか……

くそッ 最悪だ  
最悪最悪最悪最悪の日だ！





おひょッ!?

ズツブウ!

ふぐううぐうぐうッ！

尻穴 拡げられてえええ  
脱糞みたいな感覚がずつと！

ズル……

うああッ！

周りの触手が  
アタシの服を剥いでいく



ジユ……  
キリキリキリ……

ああ いやだ  
やめろ……

触手が粘膜を吐いている  
これからこいつ好みの体に  
改造されるのだろう

もう元には戻れなくなるのだと  
本能的に悟った



ふーっ  
ふーっ……うぐうし

今どうなっているのか  
わからない  
クリトリスをしごかれて  
何回もイカされたし

お腹が痛いほどに  
大量の液体がドバドバと  
流れ込まされている





いぼおッ!

ゴッ  
ゴッ  
ゴッ

ビ  
チャッ

び  
しゃ

ゴッ  
ゴッ  
ゴッ  
ゴッ

おほッ  
ぐッ  
ぼがッ  
ぼばッ  
がッ!

びちや……あが……  
あウ……ハア……  
ハア……  
……へあ

散々液体を流し込んだ  
触手が尻穴から抜けていく

シユル…



うん……!?

お腹に詰め込まれた液体が  
燃えるように熱い

股間に張り付いた  
粘膜も……あ熱い……  
体が焼け……そう……!



ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふ

熱い熱い熱い熱い

お腹の液体が体中に  
しみ込んでいく……!

うぎいいい  
いいいいあああいい  
あああああああああ



ドクン！

あああ……！

粘膜が体に同化した  
乳輪は歪に肥大化し  
色素がぐらく落ちて  
いる  
そして……

い嫌だ……  
こんなこんな……



ズボオツ!

おちんちん  
なんでええええ!

いやあ!  
これとつでええええええ!



うブー!

これだけは  
こんな低俗の証のような  
凌辱だけは嫌だったのに!  
どうしてよりによつて……  
アタシが……こんなものを……!



ドブズブズブ

イブ

ぼべっ  
ぶほべべっ!  
ほほほべえええええええっ!





おひ♡

おひ▽

ボビュウウウウウウ

ゴッゴッゴッ

ゴッゴッゴッ

ウウウウウウウウウウウ!!!







ハア……ハア……  
ああ……う……

そうか……  
アタシ  
ごいで一生……  
ごうやつて……

ああ……  
もうなにも  
かんがえ……  
られ……な……

## ザーメン製造器 ルナ

132cm 38kg  
B62 W55 H66

触手に寄生され、クリトリスは  
膨れ上がり陰茎状の器官を生やされる。  
寄生した触手は精液を養分としており  
餌を与えなければ強烈な渴望に襲われる。

### △状態記録

胸経験： 11回	胸感度： B
膣経験： 1回	膣感度： C
尻経験： 35回	尻感度： B-
自慰経験： 1回	陰茎感度： B

【神経質】 【男性嫌悪】 【処女】  
【貧乳】 【乳首肥大】 【敏感乳首】  
【ふたなり】 【縦割れアナル】



「……か」

声が  
聞こえた気がした

きつと夢だ  
悪夢を忘れるための夢  
助からないアタシが見る  
ひとときの夢……

「……ぶかー」

「おい  
大丈夫かー！」

「うわっ」

目を覚ますと  
少年がそこに立っていた

「はいは……」



「ニシシッ  
いまんとこ安全地帯  
怖い怪物も来てないよ」

「助けて……  
くれたの……?」

「いっても 倒れてたから  
背負ってきただけだね」

少年はディアと名乗った  
そして「ニシシ」ばかり  
洞窟内で探しものをしてたこと  
これから地上に帰ることを話した



「ほら 立てるか？」

差し出された手をつかむ  
不思議と嫌悪感はない



なぜだろう  
こんなの初めてだ  
散々な目に遭ったけれど  
彼に出会えたのはとても  
幸運なことのように思えた

「……でも  
あんまりくっつかないで」

「なんで？」

「……今汚いし」



「えー水くさいなあ  
別に臭いとか気にしないって  
……  
男同士 仲良く帰ろうぜ！」

「……は？」

慌てて股間に目をやる  
そこにはまだ  
悪夢の痕跡が残っていた

「あ ああ ああああ……」

「どうした  
腹痛いのか？」

「アタ……いや  
オオレは大丈夫  
すぐに……出口を捜そう」

「おう そうだな！」

ああ……



やっぱり今日は



最悪の日だ！

悪徒（人間飼育員）

イー・ゾンド

178cm 76kg

B94 W75 H95

ダンジョンに棲む兇賊の男。  
洞窟特有の生物を利用し冒険者を  
捕縛、調教、売買するなどしていた。  
触手生物について造詣が深い。

#### △状態記録

胸経験： 0回	胸感度： D
陰茎経験：41回	陰茎感度：C-
尻経験： 0回	尻感度： D
自慰経験：16回	

【粗暴】 【科人】



「ハアツ…… ハアツ……」

根城にしていた牧場が  
触手の畜生共に襲われた

せつかく質のいい肉奴隷も  
揃って 商売も軌道に乗るって  
気を抜いた矢先のことだ

「……クソッ」

おまけに逃げるとき  
妙なものを射されたせいで……

(グチュッ)

しまった……ッ！

クソガツ

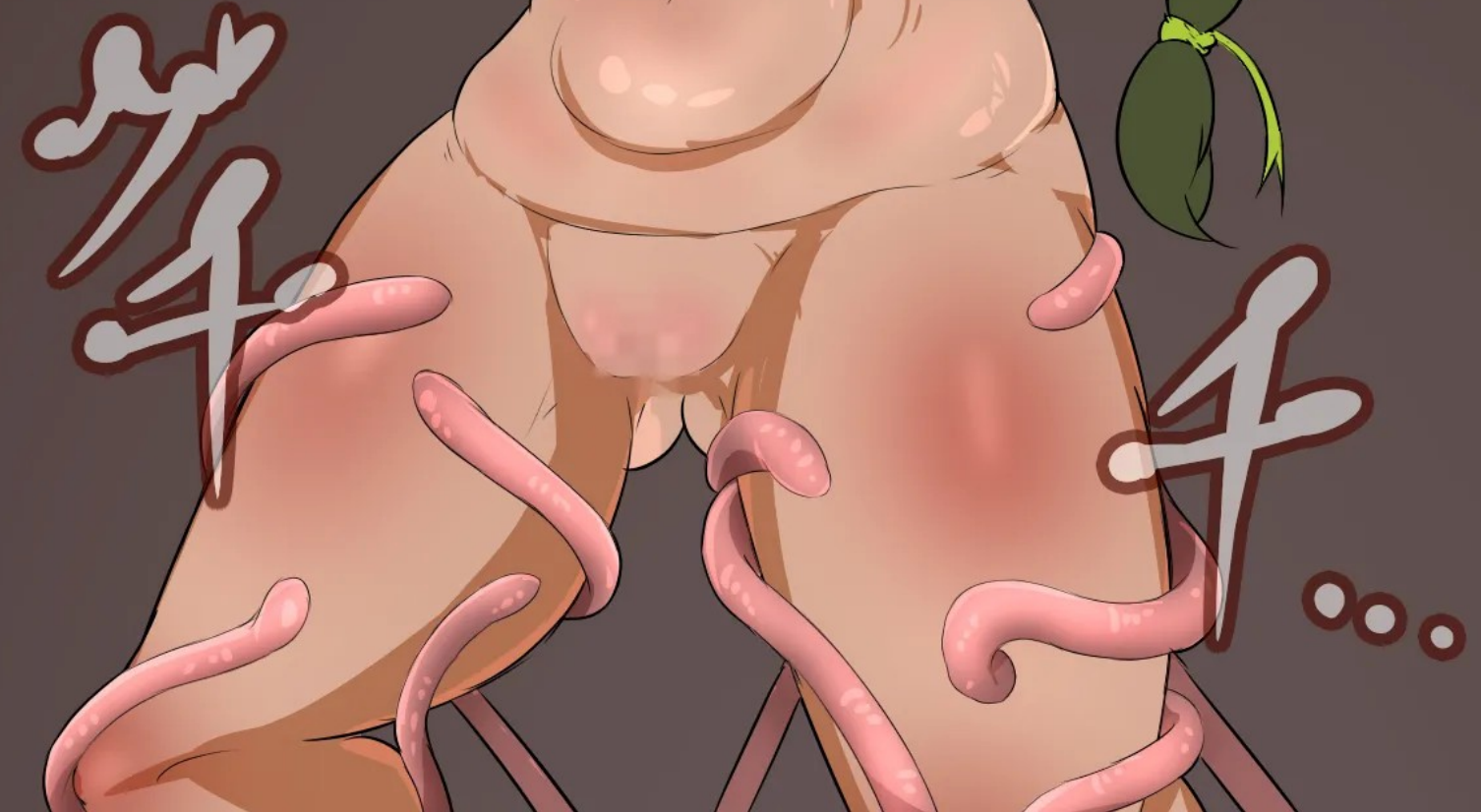
離しやがれッ！

これでもここに入ります

ようになって長いんだ

普段ならこんなヘマ絶対……

絶対しねえのに……！！



この体のせいだ  
どンドン筋力が落ちていくし  
胸も ままるで  
女みてえに膨らんで……

……フシユー

……  
なんだ今の音……？





ココイツは……!

モゴオツ!

し 資料で見たことがある  
取りついた生物の快樂中枢に  
働きかけ より喜びを覚える  
肉体につくり変える

だが…… 僥倖だ  
こいつは既に  
対策が見つかったている



自己暗示だ

本来 専門の催眠系魔術が必要だが

自分の喜びくらい

自分で操作できるってんだよ

始まった……！

男の体に戻るこそこそが

喜びだと自分に言い聞かせろ

男男男俺は男……！



男男男男の……  
男の…… チンポ……

……え？  
今何を考えて……

チンポ…… ほしい……

ブル

おいおれはそんなの望んじやいな！  
それなのに どうして  
どうしてあたし…… ツー！



さ 細胞が望んでる……ッ

このスモークのせい……？  
疼く…… 体どころか  
脳まで汚染されていく……!!

まずい 引き戻せない  
男に媚びた女体が  
定着したら もう……  
女の快樂に…… おお……



濡れちやう……  
からあ……

ああこんな……

こんなの嫌……



だって もっと感じたい

女の喜びを

この身に覚えたい……!!

あの搾乳家畜たちみたいなの

立派なメスボディに

なりたいのお……!!



4時間後

くくふう……

ポコ……

は孕まされちゃったあ……  
これが女の特権……  
マゾ豚快樂しゅごいよお……  
えへえへへへ……



## 艶女願望の色情魔

### イー・ゾンド

160cm 59kg

B89 W61 H86

アジトを失った賊徒の成れの果て。  
脳内麻薬を糧にするモンスターに  
改造され、彼女の快樂に対する  
欲望は膨れ上がるようになった。

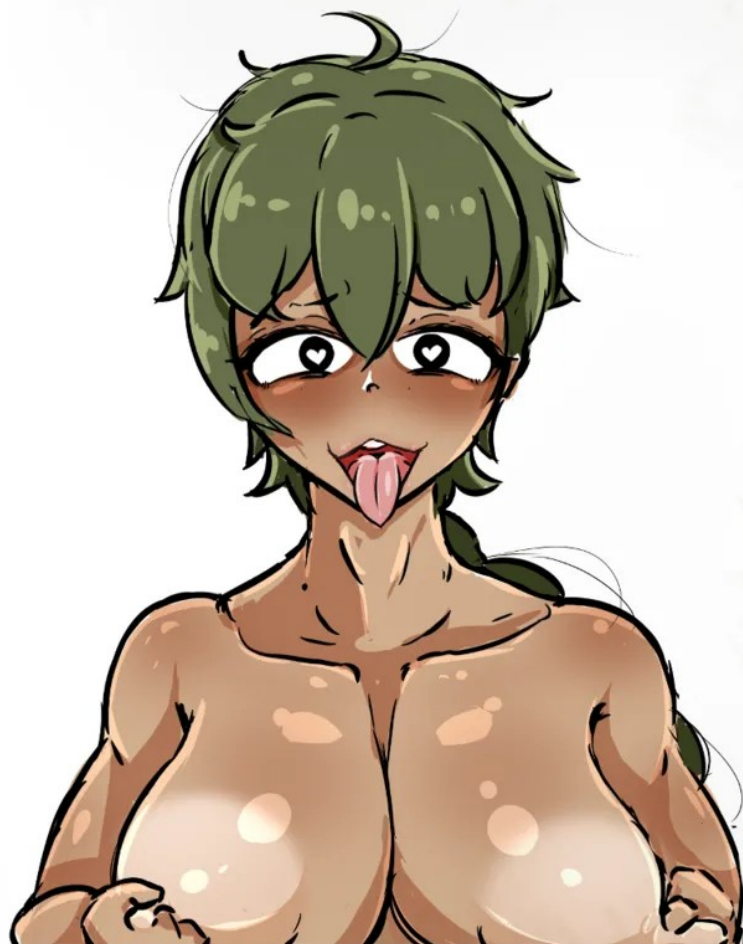
#### △状態記録

胸経験： 45回      胸感度：B  
膣経験： 120回    膣感度：A-  
尻経験： 6回      尻感度：C  
自慰経験：48回

【淫乱】【発情】【女体化】【非処女】

【妊娠】【巨乳】【乳房肥大】【骨格変化】

【妊娠願望】【雌化願望】



風来坊

マーズ・アインス

161cm 60kg

B85 W61 H90

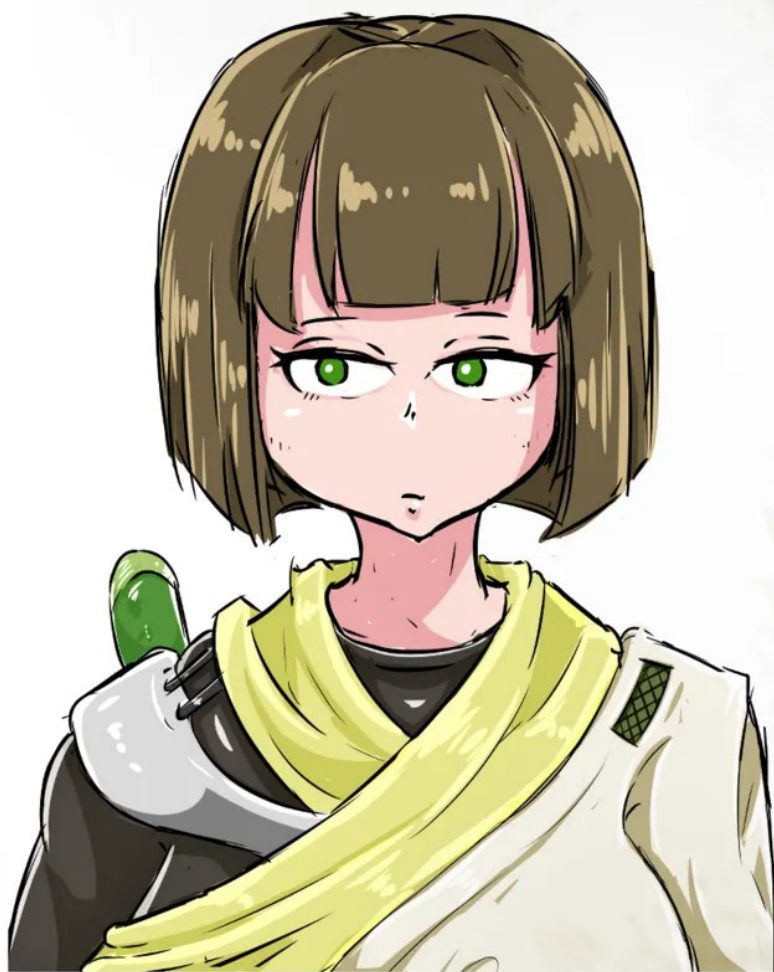
街々を渡り依頼をこなしながら  
生活する生粋の風来坊。

世俗に疎いため、街の知人に  
近況を聞きに行くのが最近の楽しみ。

### △状態記録

胸経験： 19回	胸感度： O
陰経験： 62回	陰感度： O+
尻経験： 0回	尻感度： D
自慰経験： 81回	

【剛健】 【放浪者】 【処女】



(く…… 此処は……  
そうだ  
尋ね人の依頼で  
件の洞窟に……  
それから……)

(ああ  
落ちたのだ  
奥のほうにぽっかりと  
大きな穴が……  
そこで 滑落したのか)

(それにしても  
服を 脱がされている  
誰が……  
何故……?  
なんだか体もたるい  
ろくに動きそうに……  
……  
何か…… 音が……)



ギギッ  
獲物 起キテルゼ

ゲッ  
カワイソウニ  
間ガ悪イナア

(蟲型モンスター？  
地上では見ない種だ  
奇妙だが……  
それ以上に寒気がする  
何かの間違いで生まれて  
きたかのような……)

なんのつもりだ  
着物を剥いで  
こんな格好のまま  
放置して……

ソウビビルナヨ  
コレカラ 仲間ニ  
シテヤルツテンダ  
カラヨオ

グジュ グジュ……



.....ッ  
これは.....幼体.....?

ホオラ 新シイ  
ベビイシッターだ!

ギャハハハ  
ヨロシク ママ  
可愛ガツテネ ママ!

やめろ  
この気色悪い  
虫けらを近づけるな  
薄汚い体で 私の肌に  
触れるんじゃない!



うあ……あああ……！  
はあ……はあ……！  
んあつ ああああああ！

(こいつ 秘部に  
這入りこんでくる  
き 気持ち悪い  
それに腸にまで……  
だが……！)

莫迦者がッ！  
如何に肉体を弄ばれようと  
低俗な凌辱風情に屈し  
貴様ら害虫共の  
仲間になどなるものか  
これ以上の冒流  
許されると思うなよ！

ギキキ……  
ケケケケ……



な 何を笑って……  
ううぐう……ッ!

(秘部どころではない  
この幼体……  
六腑くまなく浸蝕  
してくる……!)

うっ うううあっ  
あウッおううあッ!

(ななんだこの感覚  
腹の奥がらあッ  
押し上げてくるうッ!)

あウ ぐああ!  
胸……の……  
ながあ……!  
あ……  
あづい……!



あ ああッ！  
あッ 胸が  
豚のように……  
肥えて……  
これは……！

ギキキ  
始マツタア！

丈夫ナユリカゴ  
作レヨ ガキドモ……！

始ま……ッ  
ななにが  
はじまつで……  
あああぐうあ……！



ふうっ……  
ぐうっハッ……!!  
なんだ この胸  
ごの……乳頭……!!

入リグチ増エタア

サア今カラ  
開イテテヤルゾオ

ハアッ…… うっぶ  
なにがしたいんだ  
何をされても  
わたしはアガアッ  
ガ……アッ!



はがアツ……!!  
ほはツ ほはアツ!  
はあ! あーツ!

(口にツ 乳頭にイツ  
むムジがあ……ツ!  
やいやだ ぞこは  
入れない 這入る  
ところじゃない  
がらあツ……!!)

ギギ……!!  
ソイツノ中ハ  
ヨク眠レルカ  
ガキドモオ……!!

はあーツ!  
ひひほい はうい!  
へあ……ツ!



(血肉から内臓から……  
体内のすべてが

この幼虫たち専用の  
シユラフにつくり変えられて  
いくのがわかる……)

(ああ 抵抗する意思など  
関係なかった……

いくつかの臓器は溶け  
その代わりの器官を  
幼虫たちが務めている  
少しずつ……  
人間性を手放していく)

(……気持ちいい  
体中が生殖器になった  
みたいで……  
これ……  
すっごくいら  
しゅつごい……♡  
ぎもちイい……♡)



ハシユー……  
ヒユウ……シユー……

ギギ……  
仲間ダ……

コレカラ  
モット仲間ニナル……

ギキ……  
メス……  
我ラノ雌ガ生マレル……

ヒユウー……  
カヒユウ……♡



蟲用苗床ケース

マーズ・アインス

161cm 65kg

B130 W67 H90

尋ね人の依頼を受け、調査に入った洞窟で  
滑落。蟲型モンスターに苗床改造された。

内臓は幼体を育むための子袋になり、  
豊満な胸は性交可能な生殖器に変貌した。

### △状態記録

胸経験： 82回 胸感度：A-

膣経験： 90回 膣感度：B+

尻経験： 46回 尻感度：B

自慰経験： 81回

【放心】【苗床（蟲）】【非処女】

【胸肥大】【乳首肥大】【ボテ腹】

【愛育体質】【全身生殖可】【半蟲魔】



「うん うん  
……ありがとう」

携帯通信機の向こうから  
聞こえる声に相槌を打ちながら  
賑やかな街を進む



ふと見上げると  
ビルに取り付けられた液晶が  
ニュースを流していた

『えー……こちらの洞窟で  
……の王妃が消息は不明で……  
現在 捜索隊を募つて……ですが……』

「あつれえ？」

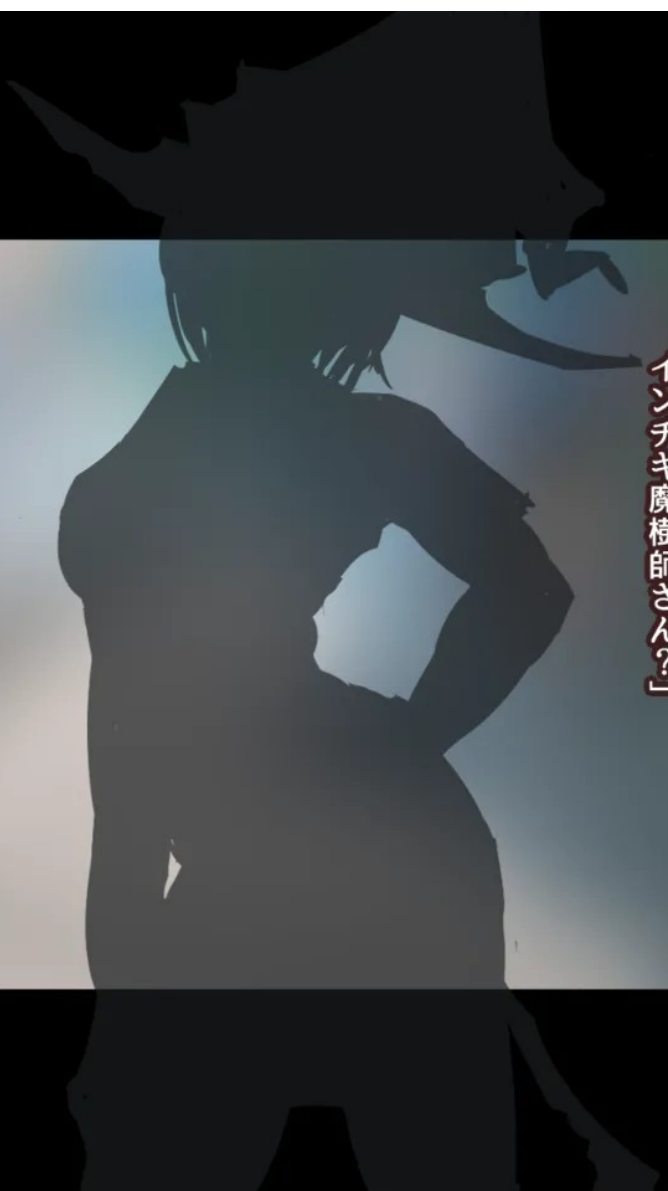
その声が生じた瞬間……  
目深にフードを被った

はやく帰ろう



「ありやっぱり笑  
誰かと想つたら

ヒマリアの根暗女じゃん」




「なあんか埃臭いと思ったのよね  
こんな人混みに紛れて  
なにやってるのかしら

機械弄りがお好きな  
インチキ魔樹師さん？」

「くく……あまり言っでは  
かかわいそうですよ  
マックス……」

「ああ 彼女の弟は  
もう三週間近く行方不明  
おそらく死亡しているのだから」

The image features three dark silhouettes against a light, hazy background. On the left is a man with a round head and a short-sleeved shirt, gesturing with his right hand. In the center is a small, winged figure, possibly a fairy or angel, floating. On the right is a woman with long hair, wearing a long dress and holding a long, thin object, possibly a sword or staff. The overall mood is mysterious and somber.

そこにいたのは3人  
……と一羽だった

なんのことはない

少しツリが合わないだけの  
古い知り合いだ


「洞窟搜索の件で  
う 上からお声がかかりましてね……  
これから……現地に行くのですよ」

精霊使いはそう言って  
くまの濃い目をうつすらと細めた



「あはははは！  
バカ共の尻ぬぐいなんて  
ヤになるねー！」


「ええ まったくね……  
あ ああ……そう睨まないで……  
こちらまで あ……  
油臭くなりそうですから……  
ぶふふ……」



「ところで 洞窟内で故障した  
術式ドローンが8つ見つかったそうだが  
うち5つは同一の型番だった

術式ドローンの私的利用は違法だが……  
その紙袋に同じものが入っていない  
ことを祈るよ 伝導魔術師殿」

術史研究家は呆れ顔で  
私の手元に視線を落とす




「ほんとどこの誰か知らないけれど  
覗き見趣味のオタク野郎には  
困ったものよね  
ねえ あなたもそう思わない」

「……………」

「…………ふ なんにせよ  
あたしたち名家には縁遠い話  
だつて 見たいものは直接見ればいい  
それだけの実力があるんだもの」

何も言わず 私は顔を伏せて  
その場を通り過ぎようとした  
けれど、と彼女の脚が伸びる

The image features a central scene with a blue-to-white gradient background. In the foreground, a woman is shown in silhouette, standing with her hands on her hips and looking towards the right. Behind her, a larger silhouette of a dragon-like creature with horns and wings is visible. The scene is framed by black bars at the top and bottom.

「かわいいそうね  
出来の悪い姉を持つと」

「.....私は」

続きを言うべくもなく  
彼女たちは立ち去った

そして  
再び歩を進めようとしたとき



「……ま」

思わず 壁に手をつく

ここ数日  
原因不明の頭痛や吐き気に襲われる

疲労だろうか  
それとも精神的な……



「きみ、大丈夫かい？  
ずいぶん具合が……」

親切そうなお兄さんに  
無理やり微笑んで  
その場からゆつくり離れる

『……少し休んだ方がいい  
心労が祟っている』

通信機の方こうから声がした



「あれ……  
私……電源……」

『切り忘れてたよ  
全部聞こえていた』

『……大丈夫

君は何も間違っていないし  
弟くんはちゃんと私が連れて帰る  
だから今はゆっくり休むといい』

「……ありがとう

迷惑ばかりかけてるのに」



『いいんだ

帰ったら苦労話の  
ひとつでもして笑おうよ』

「……うん そうだね」

『じゃあまた』

それを最後に彼女……  
マーズ・アインスとの  
通信が繋がることはなかった

ダンジョンレポーター

クーリエ・A・ファウスト

155cm 48kg

B86 W62 H102

兎とヒトのクォーター。天真爛漫な  
その性格と天然感のある発言から  
ニュース番組の名物レポーターになった。  
大きな尻がチャームポイント。

### △状態記録

胸経験： 0回	胸感度：C
陰経験： 0回	陰感度：C
尻経験： 0回	尻感度：C+
自慰経験： 0回	

【天然】 【処女】

【巨尻】



きゃあつ！  
ど どうしちゃんたんですか  
スタツフさん！

だまれ  
色欲モンスターめ！  
デカイ尻で  
みんなを  
誑かしやがって

俺は  
騙されないぞ！

ななにを言ってるんです……？



(やだ……！  
変なガスを嗅いでから  
スタツフさんの様子 変だよ  
こわいよお……！)

はあ はあっ……  
これで尻穴を  
開発すれば  
少しは大人しく  
なるか？

ひっ  
ひああっ！

おひりになにか……  
はいつてえ……！



ぎ 疑似快楽注入機だ  
快楽を餌にする魔物に快感を与える  
ことで撃退する 画期的な最新機器だよ！  
嬉しいだろこの淫魔め！

やめてください！  
正気に戻って……  
あつ おふっ♡

ふえっ  
な なにか変な  
感触が……！！



は はは  
淫魔様も尻穴は初めてだったのか？  
こいつは反応が悪いと  
性感帯になるまで開発してくれるんだ！

さらに内臓されたカメラも見れ……  
ははっ なんだこの腸は！  
もう膣みたいなヒダがびつしり  
生え始めているじゃないか！

ふふえ やらあ  
やらよお……！！  
わたしのお尻  
変にしないでえ……！！

ほらほら  
どんどん変わっていくぞ！  
今度は紋様術式を施工だあ！



あつ あああああつ♡ なにこれえつ♡  
おひりのなか♡♡♡ 焼ける 焼けるう♡♡  
熱い♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡



へ へんになりゅッ♡♡♡♡♡  
これ絶対♡♡♡♡♡  
ひとに使っちゃらめなやつ♡♡♡  
おかひくなっひやうよおおッ♡♡♡♡♡

どうだ 腸内に直接淫紋を刻まれた気分は  
もう一生 お前は尻まんこ快樂に  
囚われ続けるんだ……!

あうあ……♡♡

わらひの

おひりいい♡

ううう……♡

なかあ♡♡♡

切ないよ♡♡

ふみやああ♡♡

はは

こりやビッチ顔負けの

ぷつくり淫乱イキ癖アナル……

はは はっ はあっ はああっ……!



我慢できない！

んあああつ♡  
ぎたぎたあツ！  
幸せえツ♡  
ごりえひあわせえツ！♡♡♡



どうだ俺の極太チンポ！  
くそっ ダメだとわかってるのに！  
ヒダがぞりぞりっつてえ！  
ききもちひいいい！

にやああんツ♡

おひりしゅいついひゃう♡♡  
にがしたくないツ♡  
このマイクはなひたくないツ♡♡♡



うっ  
もう射精るッ!

喰らえ!  
こいつがお前の冠番組だッ!



うろうろ……♡♡  
もつら……めえ……♡♡♡♡

……ふあ  
へあれ  
俺はいつたい  
え……？



クーリエレポーター……ひっ！  
ななんだこの尻！？

へあ……♡  
おひりい……いれてえ……♡♡♡♡

公共オナペット

クーリエ・A・ファウスト

155cm 48kg

B86 W62 H102

催眠ガスを浴びたスタッフに凌辱される。  
アナルは形状が変異し、排泄さえ快感を  
覚えるように。淫靡な雰囲気纏うように  
なった彼女を見るファンの目は変わりつつある。

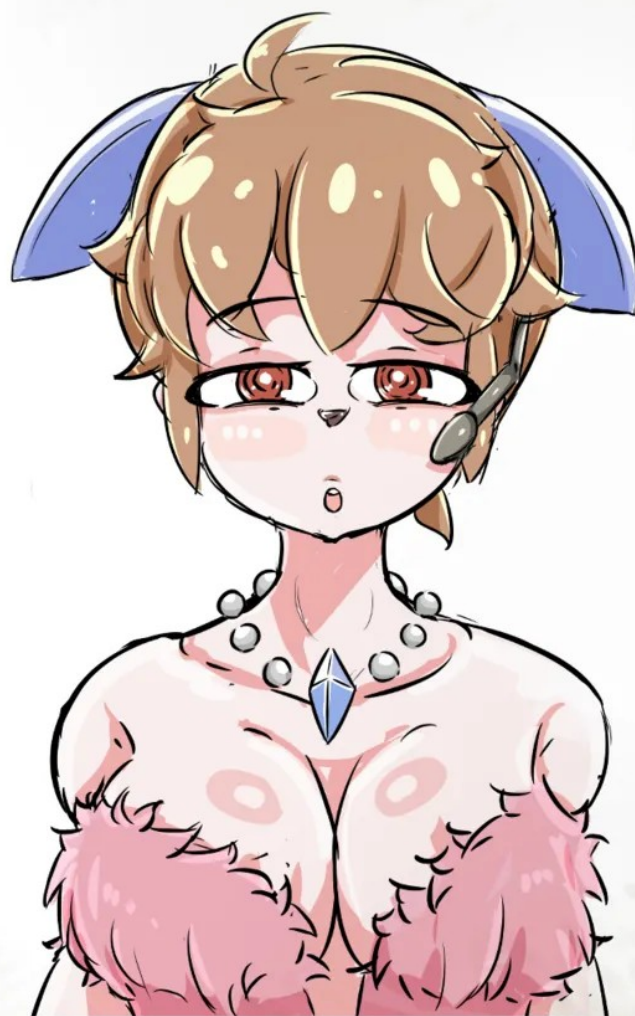
#### △状態記録

胸経験： 0回 胸感度：C  
膣経験： 0回 膣感度：C  
尻経験： 1回 尻感度：SS  
自慰経験： 0回

【淫靡】 【処女】

【巨尻】 【腸内拡張】 【尻穴肥大】

【尻穴超敏感】 【AF中毒】 【腸内淫紋】



パチ……パチツ……

焚き火の向こうで少年……

ディアが困ったようにはにかむ

「寝てもいいよ」



「……………」

そっぽを向いた先に

太い触手モンスターがつたう

彼と出会ってから

もう一週間が過ぎようとしていた

帰りの道が塞がっている

それに気づいたのは  
あの翌日のことだ



(違法プラントの  
モンスターが暴走してる)

こんな浅層に突然  
道を埋めるほどの大型生物が  
繁殖するとは思えない

人為的な瑕疵は明らかだった

「……最悪だ

オレを助ける手間がなければ

お前は……ディアは

今ごろ家に帰れていたかもしれない」

「気にするなって

どのみち家あけて長いからさ

それが少し伸びたって変わんないよ」



「だから、休んでていいよ」  
そう少年は微笑んだ

それほどまでに  
アタシは色濃い疲労を  
浮かべていたのだろう

渴く……

ずっと渴いている……

あの触手に体を弄られてから

ずっと……



やわにわに首を振る  
ダメだ……何か話をしよう

「なあ ディア」

「なに？」

「違法プラントが  
なにやってるか知ってるか」

「えーと 違法なこと？」

「ああ そうだな……」



少し迷って アタシは続けた

「正確には 男たちが集まって  
攫った女の体を弄んで……  
そして売っ払ってる」

「オレの父さんも  
昔そこで働いてた

見かけは普通のパパだった  
母さんと3人で何不自由ない  
暮らしを送っていたんだ

けど ある日  
母さんがいなくなった

妻が失踪したっていうのに  
父さんは何も言わないどころか  
急に羽振りよくいろいろ  
買い与えてくるようになった

でも  
調べてるうちわかったんだ

母さんは娼館で働かされていた」

「……オレは男が嫌いだ  
自分のことしか頭にない  
クソ野郎共……そう思ってる

だからそのつまり……  
あまり優しくする必要はないよ  
きつと互いに良くないことになる」



ああ…… どうしてアタシは  
こんな話しかできないのだろう  
相手は年端もいかない少年なのに

暗い洞窟生活に  
気が滅入っているのかもしれない

「じゃあ……」

「違法プラントぶっ潰すか！」



「は？」

「ここを出たらさ  
いっぱい準備を整えて」

「できたら苦労しないし  
根本的な解決にはならない」



「それじゃあ政治家かな！  
社会をよくするには！」

「ああー……そうかもだけど  
いや 他人様のために  
わざわざそこまでしなくていい」

「でも俺……  
ルナに自分のこと  
嫌いでいてほしくないし」

少年は施策を練る  
活動家みたい顔をして  
荒れた岩肌を目を落とした



ほんの少し逡巡する  
けれどすぐ言葉にした

「その言葉だけで嬉しいよ  
……ディア」

夜……

洞窟の下層に伸びた  
川のほとりで水を浴びる

いつのまにか鼻歌が  
漏れているのに気付いて  
やっぱりそのままふんと歌った

岩陰の向こうには少年がいる  
それが 思いのほか心地よかった

ふと川の水をすくいと  
口をつける

体が……切ない

精液を欲している  
股間に巣食った寄生体が  
栄養を求めている

……ドグン

ああでも  
そんなこと

あの子に……



疲労が祟ったのだろう  
ディアは岩に腰掛けたまま  
うとうとと寝息を立てていた

「ハア……うあつ……♡  
ハアツ……ハアツ……♡」



デイディア……  
ごめん……ごめんね……

でももう……

うん

ああ……  
これがディアの……

あアタンに生やされたのと  
似てる……

うう ディアが起きる前に  
すぐ済ませなきゃ……





ん……

なんだろ

おちんちん あんまり

硬くなってないような……

気持ちよくないのかな……

あそぶだ

くちゅ

ちゅ



お尻……あの触手が  
アタシにやったように  
ここの穴をいじれば……

い痛くならよじた  
ほくしてあげて……

ふちっ





ん……

あ 感じてる  
ここかな……？

あ……………う

ちゅ♡♡♡ちゅ♡♡♡ちゅ♡♡♡  
くちゅ♡♡♡ちゅ♡♡♡ちゅ♡♡♡

ん♡♡

ん♡♡

ん♡♡

ん♡♡

アタシ今  
男の人のを舐めてるんだ

あんなに嫌いだった男の……

……でもディアのだったら  
ちよつといいかなって思える  
不思議な気持ち……







うまくできたかな……

ハア……ハアツ……♡  
んええ……♡

んええ……♡

ああ うああ……♡  
こんなところ  
ディアに見られたら……♡

(……ダメだ  
地上に帰ったら治療を受けよう  
二度とこんなこと  
してしまわないように……)





精霊使い

マリナー・ティーン

141cm 36kg

B62 W51 H64

精霊と通じる才覚に恵まれた少女。  
生来臆病な性格だが、友人の威を借りると  
倨傲な態度をとる。彼女らと相棒の精霊  
エクスプロウラには心を許している。

### △ 状態記録

胸経験： 0回	胸感度：C
陰経験： 11回	陰感度：C+
尻経験： 0回	尻感度：D
自慰経験：11回	

【虚勢】 【処女】

【ワキガ】



穴……  
ぽっかりとあいた空洞だった

そこを下ると いた  
この世ならざる怪物たちが



「やつちやえ マリナ!」

くくく……  
あなたも手を貸すのですよ  
精霊エクスプロウラ……!」

「オークに酷似した生物だが……  
言語を解するかも不明だ  
躊躇なく殺処分でいいだろう」

「ふん こんな相手に  
敗北する奴らの気が知れないわね  
よろしく マリナー」

「ええ……」

じ 呪文で「掃みましょうか……」

眠れる花よ…… 開け……

千草よ…… 精霊の名のもとに  
実を結び 道程を示せ……!!

フェアリング・ザ・ベイロード

《妖精たちの道しるべ》!」



ふぐっ むぐうっ！  
ぐっちや ぐっちや♡  
ぐえええええええおお♡♡♡

ぶひひ♡  
精液に夢中だねマリナたん♡  
味覚改造は成功だ♡

それにしても 自分の呪文で  
味方を壊滅させちゃうなんて  
マリナたんはとってもつおいんだねえ♡

でも ぼくたちみたいに  
鈍重なモンスターが幻覚魔法を  
使ってくるとは思わなかったかな？



おばさんたちは性処理便器として  
調教されると思うけど  
マリナたんはぼくのお嫁さんに  
してあげるから安心してね♡

……私はうつぶ  
わ私はどうなっても  
構いませんから  
ほかの方々には……  
て手を出さ……ゲエエツプ♡♡

マリナたんは  
仲間想いだなあ〜♡



せ 精液飲み干しました……  
だから せめて 優しくしてください  
ご主人様……

ん  
ちよ

おねだりして♡

わ 私の……

ぷりぷりロリまんこを♡

ごご主人様の遅いおちんぼで

いっぱい…… いっぱいにして

くだちやいっ……♡♡♡





♡♡♡♡♡

承った♡

(ふっ……ふどいっつ……  
私の処女があ……なぜ どうして  
このような真似をしなければあ……)

(けれど今は耐えるとき……  
私が時間を稼げばふたりが  
そして 精霊エクスポウラが  
なんとか脱出口を見つけられるはず……)



うっ 膣がキyunキyunしてる！  
締め付けすぎだよマリナたん！  
もう射精るッ！

ふっふっ

だ 射精してくださいっ♡  
ご……ご主人様の精液で  
いっぱいにしてっ♡♡♡

な 中出しおねだり！？  
ぼくらの精液 人間には  
危険な媚毒になるけど  
いいんだねマリナたん……！  
愛してるよお！

ふっふっ

ふっふっ

えっ ちょっとま……！







うう……♡  
体が火照るう……♡♡

ふひ……♡  
良かったよ マリナたん♡  
ん？ あれ  
……ねえ なんか臭くない？

ひえっ？



ワキガ?

ビブッ

すんすん……  
マリナたん まさか……

ツッ

(スーツで抑えてるはずなのに……!  
媚毒のせいで匂いが漏れて……!)

ふん……

か かわいいマリナたんが  
体の臭い汚物女で幻滅しましたか……?  
な…… ならば煮るなり焼くなり  
好きにするといいでしよう

まあただで死ぬつもりはありませんが  
枷で魔力を封じられようと  
私には鍛えられた槍術が……



1時間後

なんのつもりですか!?

マリナたん……いやマリナー  
マリナーの脇すくくいい匂いだ  
愛してるよ

ピ  
カ

ピ  
カ



い意味がわかりせん！  
臭いと自分で言ったでしよう  
おちよくるのも大概にしてください！

それがいいんじゃないか  
臭いのがッ！

今まで気にしてきたんだらう  
人目を伺いながら  
自分が臭くないか確かめる  
日もあつただらう！



ぼくは好きだッ!  
きみも その臭いも!

あう……

それに……  
マリナーの脇すごく  
おいしいよ……べろお

ひひやうづ……



……そう思うなら  
まずは枷を外してください

ふふん ふたりの仲じゃないか  
これから もっとほく好みの  
体にしてあげるからね……

……勝手にしてください

(これはあくまで時間稼ぎ……  
ただの時間稼ぎです……)



淫臭少女

マリナー・ティーン

141cm 36kg

B62 W51 H64

豚系モンスターの幻術にハマり味方を  
壊滅状態に追いやる。その後、味覚を  
改造され精液しか受け付けない体にされ  
体臭を嗅がれることにも快感を覚えるように。

#### △状態記録

胸経験： 5回 胸感度：B  
膣経験： 31回 膣感度：A-  
尻経験： 0回 尻感度：D  
自慰経験： 11回

【溺惑】 【非処女】

【味覚異常】 【精液中毒】 【精飲願望】

【被愛願望】 【ワキガ】 【汚臭依存】



## 精霊

### エクスプロウラ

35cm 0kg

B13 W12 H13

マリナー・ティーンと行動を共にする精霊。  
魔力を感じとりやすい敏感な肌をしており、  
精霊の契りを交わした者には彼女が擁する  
多大な魔力を供給できる。

#### △状態記録

胸経験： 0回	胸感度：B
陰経験： 0回	陰感度：B
尻経験： 0回	尻感度：B
自慰経験： 0回	

【無邪気】 【処女】



はーなーせー！

ぐひえひえ ラッキー！  
精霊たあ珍しいもん連れてんなあ  
此処じやお目にかかれねえからなあ！

ジュワ

バタッ



ちようど新しいオナホが  
欲しかったところなんだよお！

ヒョ  
フ

ヒョ  
フ



きもい きもい きもい!  
くちくちくちくちくち!

はーなーれーろー!

ピーピーうるせえな  
ちよつと黙つてろ





い……や……あ……!!  
ああだじにはマリナがいるからあ……  
お前と……げいやぐなんがああ……

あ

か

ん

ふーん それじゃあ……





あつがあつ！  
つぶれりゅツ！  
おながあああツ！

精霊だからいけんだろ！  
おらおら弱音あげるまで何度も何度も  
突きまくってよがり狂わせやつからなあー！！



ルン



とびおしん♡



かひゅッ♡



んほおおおおお

おおおおおおお  
♡♡♡





ド  
チュ

あぐろろろろろああああ……♡

ド  
チュ

ほぐろろろろろああああ……♡

ド  
チュ

ド  
チュ

ド  
チュ

ド  
チュ

ド  
チュ

♡

するう！

あんだと契約するう！

だがらもうやめでえええええ！

よしそれじゃあ……



俺様専用オナホ精霊

びびるるるる!

契約成立♡

ん  
おお  
おお  
おお



魔力が回ってくるのを感じるぜえ  
つたくコンドームみてえな恰好しやがって  
ほかの女と交尾するときも  
おめえをゴムとして着用してやるよ♡  
ぷにあなコンドームちゃん♡

千〇〇〇...

あひい……やあああ……  
けいやくうしたのに……  
そんあああああ……



オナホ精霊

エクスプロウラ

35cm 0kg

B13 W13 H13

モンスターに犯しつくされ精神的に屈した。  
子宮は強引にこじ開けられ、ゴム代わりにハメ  
尽くされた膣はデカマラ型に変形。その結果、  
いくたび放尿するお漏らし体質になった。

#### △状態記録

胸経験： 0回 胸感度：B  
膣経験： 31回 膣感度：B+  
尻経験： 0回 尻感度：B  
自慰経験： 0回

【隷属】 【非処女】

【ボテ腹】 【子宮変形】 【卵子屈伏】

【イキ癖】 【放尿癖】 【主従契約】



術史研究家

クワトロ・レインジャー

165cm 55kg

B90 W60 H81

様々な知識に秀でた魔法術史研究家。  
飄々とした性格、機知に富んだ言動からは  
彼女の本心を掴めない。性的関心は薄い  
が、乳首と陰核が他人よりかなり大きい。

#### △状態記録

胸経験： 0回	胸感度：B-
陰経験： 0回	陰感度：B-
尻経験： 0回	尻感度：C-
自慰経験： 0回	

【聡明】 【処女】

【巨乳首】 【巨陰核】



モンスターの隙について  
拘束から逃れた僕らは  
それぞれ出口を目指した

……だが

前門の虎 後門の狼



「ハアツ…… ハアツ……」

伝えなければ

ここで得た情報を 脅威を  
我々の決定的なミス  
を 地上に……

ふ、と岩壁に手をつく  
一帯にガスが充満している  
脳が眩み 這う這う道なき道を進む

瘴気のせいだろう  
まともに魔力を動かせない



地上に使い魔で報せるか……  
だが そうすれば余力を使い果たす  
完全に意識を失ってしまう

「このまま闇に沈む……  
くらら……なら……」



……………  
はいね……

(両手が縛られている  
視界も悪い  
そして淫魔系の媚臭……  
気絶したあの場所ではない  
何者かに移動させられている)



あら お目覚めかしら？  
マヌケで愚かな  
人間ちゃん♡

.....  
サキユバスか

(虎口を逃れど 堕ちるは竜穴  
.....ということらしい)




……拍子抜けだ  
洞窟……いやダンジョンの  
固有生物を期待していたのに

まさか サキユバスとは  
こんな所で何をしているんだい？  
地上の仲間たちは怒るだろう  
オークもサキユバスも……  
モンスターも人間も  
皆共に暮らすこのご時世に

……君たちのような例外が争いを生む





口の回る素材だこと  
でも 残念ね♡  
あたしたちはここで生まれて  
ここで育つたの〜

サキユバスだのなんだの  
外の世界なんて知りませ〜ん♡

.....

そんなことより これから  
あなたを芸術にちやうんだから♡  
期待しててね♡



ご開帳♡  
うわ クリでつか♡  
乳首もエロいしもしかして  
オナニーしまくりの  
むつつりスケベちゃんかな？

ん〜？

.....

答えろッ!

ゴキ

.....ッ

答えないと  
脳みそぶっ壊して 豚さんたちの  
種付け人形にしちやうぞ♡



……自慰の経験はない  
この体は生まれつきだよ

ヒッ……

ヒッ

え〜! うっそ!

それじゃあ根っからの  
ドスケベボディってこと!?

変態女の素質あるわあなた♡  
これは結果が楽しみ♡

ヒッ……



ツ……これは

……ふふ♡

それは『茎淫針』

刺されると性感が活性化して

神経がクリトリスに集中するわ

……そして 感じれば感じるほど

クリトリスはどんどん肥大する♡

針の効力が切れるまでに

捕まえた人間のクリをどこまで

大きくできるかあたしたちで競ってるの♡

うふ……♡ あなたなら

きつといい記録が狙えるわ……♡



なるほど……  
先ほどから妙に陰核が熱いのは  
そういう……ッ ことか……

ふくん♡  
もう始まったんだ♡

でもこれは調教が必要ね  
そんなお堅い言葉遣いじゃ  
あたしもあなたも興奮できないわ♡



くッ あッ……  
な 何を……ッ！

ヒク……

アハッ♡  
脳みそ直接イジリまわして  
エロ言葉でいっぱい  
ビッチ辞典にしてあげる♡

ぐッ 陰核……ク クリトリス……  
ぼくの……おっきなクリちんぽ……  
おちんぽすっごく……熱い……ッ！

ヒク……

……ッ！



乳首もコリコリして  
あげよつか♡

ヒグ……

ふくううううっ  
ここんなことで  
性感を覚え……うぐッ

ん~~~~♡  
脳みそクチユクチユ~~~~♡

くあああああん♡  
ぼくのデカ乳首シコられたって  
みつともなく感じたりなんか  
ぜつつつたいしないッ♡

ヒグ……



あら〜♡

真面目ぶった言葉が

上書きされて あなたまるで

淫語プレイの娼婦みたいね♡

ヒグ...

くっ.....

(.....大丈夫だ

こうは言っているけれど

感じさえしなければ

ぼくのだらしないクリチンポも

これ以上大きくなりほしくない

今はひたすら耐えるんだ.....)

ヒグ...



な〜んて  
思ってるんじゃない?♡

ふぐうッ!

淫気にアてられ続けたクリなんて  
あたしの性技に  
かかればたつたひと撫で♡  
指一本で簡単にイかせちゃうんだから♡

それに今……あなた  
深イキしちゃったんじゃない?



ふぐうぐうぐうぐうぐうシ♡  
あッ♡ あがあああッ♡  
クリ……がア……ッ♡

すっごおい♡ もうこれ  
完全におちんぼじゃない♡

くしょおッ♡  
くじょくじょくじょおシッ♡  
ぼぼく女なのにい……♡  
こんなこんにゃのお……っ♡

ふふ……  
それじゃあもう一声♡







ちゅっぽ  
ちゅっぽ♡♡  
もっろちゅちゅちゅっ♡♡♡♡

うっわあ  
グロチンポ……  
ちよっとやりすぎたかも

ねえおねがいおねがい♡  
ママのちゅちゅほちゅいのおん♡

チツ



はいはい  
イけほらッ!

バァッ!

んんううんッ♡  
ぎぼぢいらいらい♡

デカクリチンポ  
もっどおっぎぐなりゅッ♡♡♡



ふーッ♡  
ふーッ♡  
グロチンボうれじいじい……♡

イビツ

……キツモ

ビク

これは失敗作ね  
次はもっと綺麗なの目指そうかしら



ん……じゅぶ♡  
おいひ♡ かめさんおいひ  
ひえーえきらひてえ……♡

ちよつとあんた  
いつまでサボってんのよ

……ちよつと  
気分転換してただけよ

もーしっかりしてよね  
こっちは大忙しなんだから



はいはい 今行くわ

じゅぽぽ♡  
ひもひのの♡……♡

じゅる♡ びゅずず♡  
もつろ♡ もつろもつろ  
きもひよくひてえ……♡♡♡

……じゃあね  
種付け人形さん

ガキニ…



フタナリ木偶人形

クワトロ・レインジャー

165cm 60kg

B90 W60 H81

女型モンスターの手に落ち、脳と陰核を弄られた。言語中枢に淫語を詰まれ、陰核は肥大化し射精可能な巨茎に成長した。その後、彼女らの吐精人形としてモノ同然に扱われる。

#### △状態記録

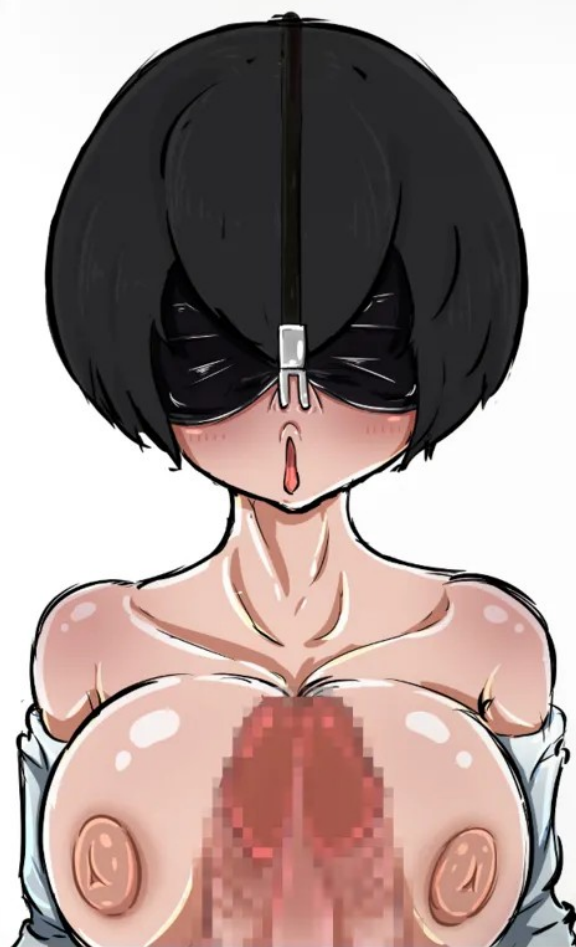
胸経験：101回	胸感度：B+
膣経験：0回	膣感度：B-
尻経験：0回	尻感度：C-
自慰経験：60回	陰茎感度：B+

【愚陋】【処女】

【巨乳首】【ふたなり】【射精中毒】

【陰茎肥大】【知性低下】【淫語中毒】

【異常性欲】【イキ癖】【マゾヒズム】



Now Loading...

新興国の王妃

国家派遣員

兇賊

放送局レポーター

精霊使い

魔法術史家……

乳房変異

陰茎改造

女体転換

肛門拡張

精神汚染

陰部肥大……

そのほかにも

目も当てられない数々の惨状を  
私のドローンは捉えていた

けれど どこにも弟の影はなく……

あまつさえ 洞窟に囚われた

彼女らを救う手立てもない

……なにを

へろ

私は……

レーダ・ヒマリアという

この女は……

何をしているのだろう

ろ

誰も助けられず

誰も救えない

あッ

マーズの連絡も途絶えた

それなのに……

んッ……♡

それなのに  
今もこうして……

んっ……ふっ……

……いつからだろう  
ドローンの映像を見ながら  
自慰に耽るようになったのは

んわ……

ここ……  
イイ……



指とまらな……ッ

こんなのダメ……なのに……♡

……いつからだろう  
自室じゃ我慢できなくなつて  
外でもするようになったのは

ハア ハア……ッ

誰かに見られたら……

わたし……



ダメだ  
吞まれちゃダメなんだ

このどうしようもない  
衝動を抑えられなくても  
心まで手放すわけにいかない

そんなことになれば  
弟に…… デイアに  
会わせる顔がない

……



……でも

ちよつとだけ

もう少しだけ  
このスリルを味わいたい



「……でさあー  
そいつマジはやくつてえー」

……ッ



誰かいる  
この時間 いつもは  
人なんて通らないのに……

「まあーじい？  
それヤバくなーい？」

近づいてくる……  
足音……

逃げ……なきや……  
ここそのままじゃ……  
私……  
わた……し……



はッ ぶくううッ

わ 私なにしてるの……  
見つかったらヤバイのに  
こんなところ……

くううんッ♡

ああ ダメ……  
乳輪ぶつくり膨らんで……  
興奮してるんだ 私の体  
このドキドキが  
たまらなくなってる……!!



「ちよつと待って  
今何か聞こえなかった？」

……ッ

「あつちから……  
女の喘ぎ声 みたいなの……」

近づいてくる



離れぎや こゝから  
今すぐは.....



逃げなくちや……







ダメ……♡  
胸を揉む手も止まらない  
人には見せられない……  
私のみつともない乳輪  
撫でるとぷっくり膨らんで  
もっとしてほしいって  
主張しちやってる……♡

興奮が収まらない

真っ赤に膨張したクリトリス  
捏ねるたび腰が引けて  
肩が何度も跳ねあがる……

V40...

V40...

V40...

V40...

V40...

V40...

もうムリ……♡  
声抑えきれない……!

こんな  
こんなところ  
見られたら……!



「ねえ」



「……ねえ やめとこうよ  
マジでやってたらヤバいつて」

「んまあー 確かに  
他人の青姦とか見ても萎えるしね」

ハア ハア……ッ

ハア……ッ



足音が遠ざかっていく……  
その音を背景に  
私はしばらく立ちすくんだ

……いつちやった

あんな変態みたいな感じ方で……  
見られたら本当に終わりだった  
それなのに……

いいや違う

きっと心のどこかで  
見られることを期待して……



ダメだダメだ  
ダメなんだ

慌てて首を振る

もう帰ろう

いつまでもこんな恰好で  
外にいるわけにもいかない

そう思うと

緊張の糸が切れたのか  
私は思わず身震いをした



あああ……  
おしっこ……とまらな……

でも もう同じだよね  
おしっこくらゐ……



きつと  
一難乗り越えて  
気が緩んでいたのだろう

だから……



「レーダさん……？」  
何をし……して……」

「……………んん」

些細な物音に  
気付かなかった



そして私は



「はあッ……はあッ……！」

言い訳する間もなく  
その場を逃げ出していた



最悪だ

最悪だ

最悪だ

最悪だ

だって彼は……



私を知っている

あの日……  
街であの三人に会った日

立ち眩んだ私に  
声をかけてくれた親切なお兄さん



あれ以来 何度か  
顔を合わせることもあった

決して知らぬ仲では通せない  
そんな人物に私は  
私は

あんな痴態を……

「……………ッ！」



眩暈がした  
またあのときみたいに……  
壁に手をつくそして歩く  
歩くあるくあるかないと……

「ねえー聞いたあ？  
捜索隊ほぼ壊滅だつてえ」

.....!

「でも 何人か  
帰ってきてなかった？」



「そりや少しはねえ  
んでそいつらの話だと 中にまだ  
子どももいるらしくてさあ」

「マジ?  
それってヤバくない？」

「男の子とさあ  
青髪の女がいつしよに  
いたとか言ってるえ」

「えーこわあ  
でも壊滅じゃあ  
搜索は打ち止め？」



「かもねえー」

.....  
.....

「ああ ディア……」

私どうすればいいのかな



本当は

本当はわかってるのに

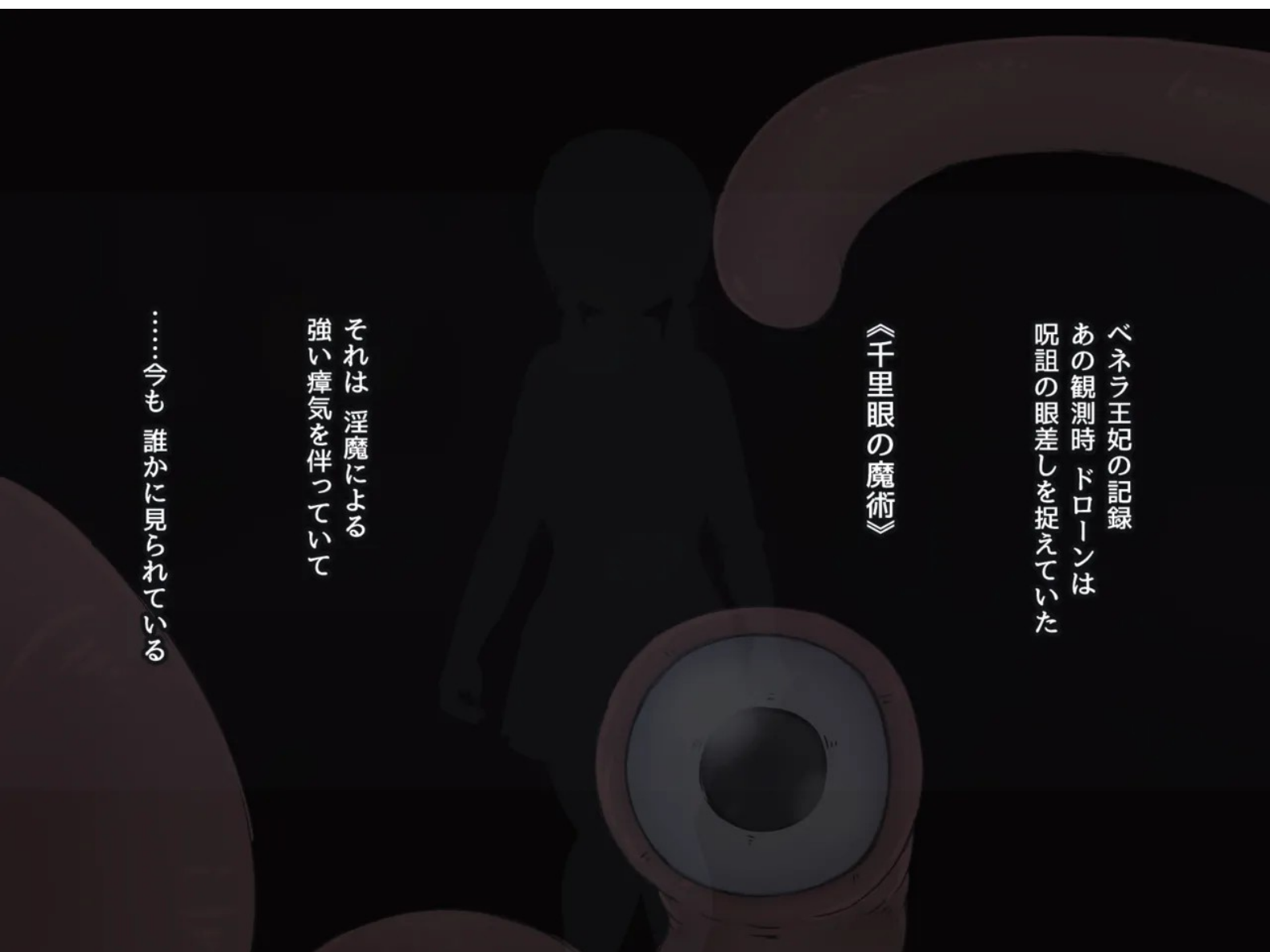
頭痛も  
眩暈も  
性衝動も

ずっと分かっていた  
ずっと気付いていた

あの日——

私は呪われたのだろう





ベネラ王妃の記録  
あの観測時、ドローンは  
呪詛の眼差しを捉えていた

《千里眼の魔術》

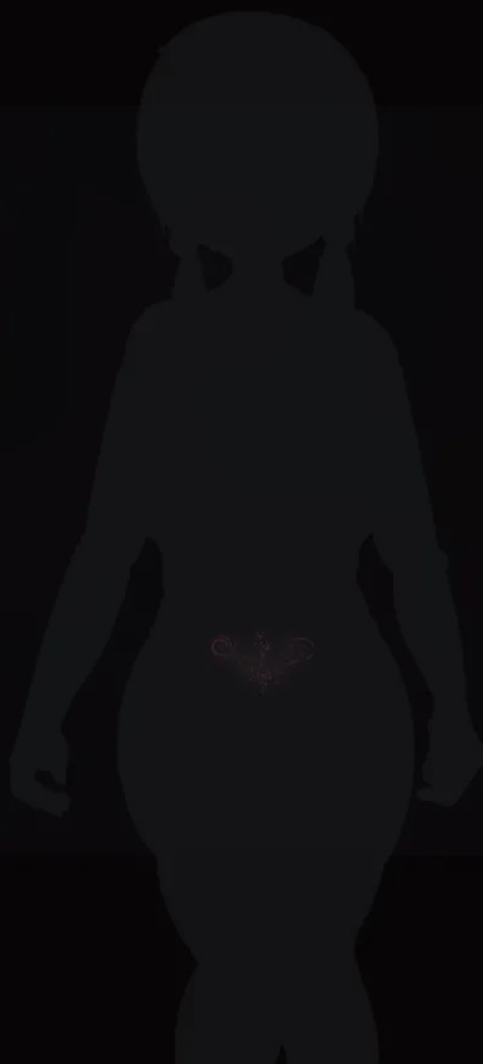
それは淫魔による  
強い瘴気を伴っていて

……今も誰かに見られている

電子機器を介してなお  
効力を持つ魔術など  
聞いたこともない

けれど 事実……  
私の下腹部には にわか  
淫紋が浮き始めている

このままじゃ  
ディアを助けられない



呪詛が完全に私の精神を  
侵したとき……  
誰もあの子を……

ディアを  
助けようと言ってはくれないだろう



王族でもない

国仕えでもない

スターでもない

平凡な

ただのひとりの男の子を

だから 行けなかった  
私が失敗したら  
後がないから

……けれど もう



ここにいても 呪いの  
症状が進行するだけだ

それなら  
それなら 私は……

呼吸を整え  
我が家に向かう

……その先に待っている  
絶望も予想できぬままに



ああ  
もっと本当のことを言おうと

・  
・  
あの子の言ったことは  
正しかった

私は臆病で情けなくて  
出来の悪い姉だから

足が竦んでいただけだ

「お姉ちゃんね」

あの日

「私ね デイア」

何と言ったのだっけ

「私が本当に」

ㄣ  
ほんとに

ほんとに

お姉ちゃんが

ほ  
し  
い  
の  
は

—

ㄣ



伝導魔術師

レーダ・ヒマリア

149cm 54kg

B90 W66 H92

伝導魔術の研究を生業とする少女。  
強力な淫魔術によって体を蝕まれる。  
性衝動を抑えられない肉体は、取り  
返しのつかない淫雌の一步を歩み始めた。

### △ 状態記録

胸経験： 11回      胸感度：D+  
膣経験： 15回      膣感度：D+  
尻経験： 1回      尻感度：D  
自慰経験：27回

【冷静】 【処女】

【巨乳】 【陥没乳首】 【性欲上昇】

【露出衝動】 【淫紋（弱）】



壁からそつと顔を出す  
誰もいない

「……………」

巫山戯た話だ

報告書とこの地底洞窟は  
話が大きく食い違っている

このダンジョンは……

我々では 攻略しえない



あいつが  
正しかったのか？

苦しむ人々を尻目に  
手をこまねくだけのあいつが

あの 卑怯者が？

「……冗談」

そう呟いたとき  
蚊の鳴くような声が聞こえた



「……す……けて……」

女の声

耳を澄ますと また聞こえる



「だ……れか……」

……いた

岩陰から細足が伸びている  
慎重に歩を進める

「……あなたは」

そこにいたのは  
資料で見た顔だった

搜索対象の  
ベネラ・アージン王妃  
その娘……いわば姫君

「ああ……やっと……  
どうか……わたしを……」



逡巡する

正直 護衛する余裕はない

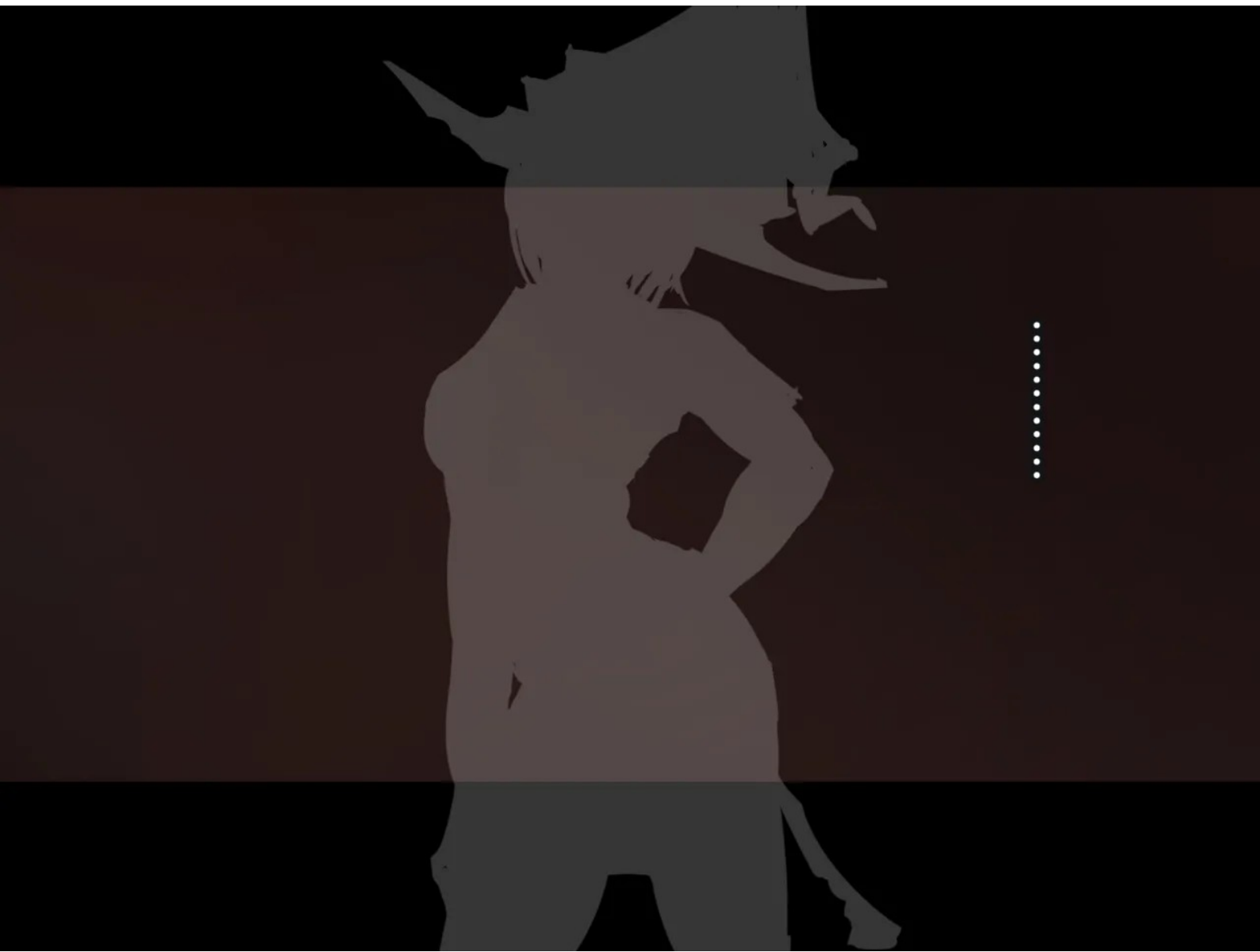
単独で脱出し  
対策を講じ 新たな編成を組む

それが最善だ

ここは彼女を世話しながら  
脱出できるほどイージーじゃない

なにより

ベネラ王妃の姫君はたしか……



「……行きますよう」

膝をつき 手を差し出した



如何な理由があろうと  
精神的に衰弱した彼女を  
こんなところに放置できない

私は そんなことのために  
魔術を学んできたんじゃない

「ああ……  
ありがとうございます……ごぎいます……」

姫は 震える手で  
私の手を握り返した

「お母さまのことは心配でしょうが  
長居はできません  
さあ急いで」

「ああ……  
なんと お優しい方で……  
よかった……  
ほんとうに……」

ほんとう……みなさん……  
お優しい方ばかりで……  
助かります……  
ほんとう ほんとう……

バカばかりで……♡



「おーす ぽっおーす」



振り返ると  
ディアがしやがみ込んで  
何かを覗き込んでいた

アタシは少し言い淀む

「……なにしてんだ」

「穴だ！  
出口に繋がってないかな」



「穴って……あっ バカ！」

それを見た途端 思わず  
彼の腕を引っ張った

「えっ なになに？」

「あっ……」



慌てて手を離す

あれ以来  
どうしても気まずいのだ  
うまく顔も見れない

「なんだよー  
あ 腹痛いのか？」

「……なんでもないよ」

「とにかく 気をつけろ  
妙な穴には 近づくな

ここ  
洞窟に詳しい奴の間じゃ  
有名な話なんだ」



「奇怪蟲の繭……」

魔力を封じる封印石……

幸福をもたらす龍の涙……

冒険者垂涎のお宝が  
地下に眠っている



そんなくだらない噂話を

聞きつけて たくさんの

人間がこの洞窟にやってきた

そうして 穴を掘ったり

見つけたりしては

皆 下りていったんだ」

「だが……  
ひとりとして  
帰ってきた者はいない

いつしか穴の先は  
畏敬の念を込めて  
こう呼ばれるようになった



堕ちたら這いあがれない  
難攻不落の地底世界……

「ミ  
フォールダンジョン  
ミと」

「まそんなだけ小さい穴なら  
落ちることも……  
つてなんだよ」

「ふふ なんでもない」



「……なんだよ 言えよ」

「あははー！」

「だって久しぶりに  
いっぱい話してくれたから」

「……………」



「ねえルナ」

「ここを出たらさ  
いっしょにお勉強しようよ

ヘンテコな生物とか  
むつかしい魔法術とか  
この世界のこととかさ」



「そしたらきつと  
いろいろ好きになれると思うんだ

嫌いになってきたもの  
よりもずっとたくさんの  
いろんなものを！」

「それに  
ルナみたいな物知り  
姉ちゃんきつと気に入るよ！」

.....



アタシは何も言えなくなって  
震える手で  
彼の腕を掴んだ

「.....行くよ」

「風の音がする  
出口はきつとすぐそこだ」

「やった！」



「あのさ……  
ここを出たら  
オレの秘密教えるよ」

「マジか！  
約束だぞー！」

ふたりで  
狭い洞窟のなかを駆ける

もちろん慎重を期して

足元には  
罨も 穴もない

光がかすかに射している

大丈夫  
もう憂うことなんてない

アタシたちのちいさな  
遭難は じき幕を閉じる

そう思っていた

「危ない！」



「ルナツ！」

「…………え」

気付けば  
身体が宙に浮いていた

そして――

そして

壁に大口を開けた  
巨大な……

巨大な穴が  
ディアを飲み込んでいく

「どうして……ッ  
こん……な……  
ところ……に……ッ！」

違う



「あはは  
やっちやった」

違うじゃないか



君は今  
アタシをかばって——

ディアのちいさな体が  
闇に呑み込まれる

「まって  
いかないで……ッ！」

「むつかしいな

笑ってほしただけなのに  
うまくいかないや

これじゃ姉ちゃんみたいだ  
似てるんだらうな  
やっぱり

ね ルナ」



「ごめんね

大丈夫だからね

ちよつと帰りが遅くなるけど



先にお勉強しててよ  
ほら 約束だからね

……ああ

それ……と……」

「これ 姉ちゃ……に……」

「いの……  
こんなの……！」

「……」

強く押し出され

アタシに張り付こうと  
していた触手が剥がれ落ちる

ディアが何か言ったけれど  
うまく聞き取れない

壁の向こうへと  
消えていく

「待って！」

アタシ……アタシまだ

ちゃんと君に……ッ！」



手を伸ばした先には  
ただ壁だけが残されていた





ゲツゲツ!

女王様バンザイ!

女王様バンザイ!

ギツギツ!

新たな仲間!

我ラガ女王!




アアモット!  
モット強クウウ!!!

これがいいのか?  
この変態スケベ蟲め

アアアアアアア  
イイイイイイイツ!  
最高デス女王様ア!

ヒッ  
ヒッ

ヒッ  
ヒッ



足蹴にされて喜ぶなんて  
本当に気色悪い性根だな  
子孫も残せない  
哀れな精子を  
惨めに飛ばすといい

アアイイ！  
モット下サイ  
女王サマアアアア！



そうだな……

ええと

ああ

雌の減少を  
捕らえた他種族の改造で  
補うとはとんだ劣等種だ

あげくさせるのは  
こんな性接待か

情けない！





アハアアア!

足で踏まれて  
みっとない射精を晒せ!

イけ!  
イけ!

ビクッ

ビクッ





ハヒイ……♡

……これで満足か？





(……まったく)

何をやっているんだ私は  
レーダの弟を探しに  
こんな所まで来たというのに

……だが  
この体になってから  
心まで侵されるのを感じる

もう  
彼らの一員に……)

ゲゲエーッ!

ギギギイーッ!

むあ...

なんだ  
やかましいな

マタ下層ノ連中ニ  
獲物取ラレタ!

アイツラ イツモ  
ヒトリジメ!

ツリ目ノ女モ  
チツチャイ男モ!





そこに行くまでに  
どれくらいかかる？

グゲツ！？

エエエト……

エエエト……



もういいわかった

アッ  
ソレニ加エテ……

追加デ  
125体ノ希望ガ出テルゾ

アト716体  
性戯ノオ相手ヲ  
シテイタダキマスノデ……

さつさと次の

希望者を呼んでくれ

つづく

## 完全淫蟲魔

### マーズ・アインス

168cm 66kg

B141 W72 H104

苗床改造され蟲たちの繭となった体が  
変態し、淫蟲魔の成体として新たな生を  
受けた。自我は残っているが淫魔の本能を  
うみ込まれ、奇怪蟲の女王に祀り上げられる。

#### △状態記録

胸経験： 484回 胸感度：A+

膣経験： 621回 膣感度：A+

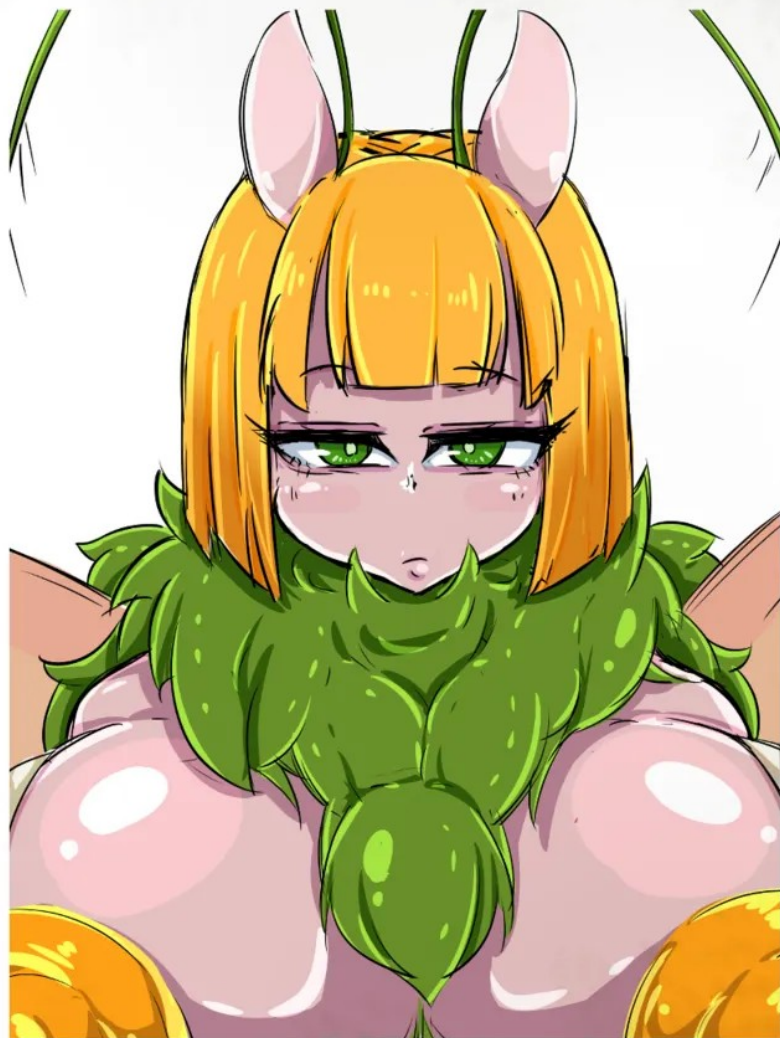
尻経験： 102回 尻感度：B+

自慰経験：154回

【淫蕩】 【淫魔】 【非処女】

【胸肥大】 【乳首肥大】 【尻肥大】

【全身性器】 【種族変異】 【淫魔化】



こうへんのよこく

「いっしょいっしょー！」

「まっではやいよ」

「だって まちきれないよ！  
あたしたちの中から  
宮廷魔導士が選ばれるんだ！」

「来年の話だよ」



「だから  
これから勉強するのー！」

「でも……」

「勝負だからね レディ！」

我が大家の名にかけて  
あんなにだつて  
負けないんだから！」



「……でも マックス」



「私わからないよ  
国仕えなんて言っても  
何をするのか……」

「マックスにはあるの？  
そのやりたいことか……」

「世界平和！」



「もちろん  
目指すはひとつ！」

「この世から悲しみを  
消し去ってやるのだ！」

「あはは それは……」



「あそんなの  
ムリって顔してるな！」

……ふふ

まわかってるけどさ  
あたしバカじゃないもの」

「でもね  
どんなにつらいことがあっても  
みんな最後には笑えるような  
そんな世界にしたいんだ」

レーダは？

夢とかないの？

ほら 叶えたいこととか」

「……私は」

「ねえちゃん！」

「あーディア……」

「やあ弟くん！  
今日もかわいいね！」

「わわっ！  
こんにちはソーラーさん

ねえちゃんさ  
いまほししいものとかある？」

「あつ おおー！  
うりうり  
できた弟だ！」

「わわわ」

「あはは

そうだな  
◆……  
さまほしのは……





魔法使い

ソーラー=マックス

170cm 58kg

B96 W60 H85

由緒ある家系に生まれ、魔術に身を  
やつす生粋の魔法使い。国に仕える  
宮廷魔導士にも匹敵する実力を持つが  
親友の裏切りをきっかけに道を閉ざした。

### △状態記録

胸経験： 0回	胸感度： C
陰経験： 9回	陰感度： C
尻経験： 0回	尻感度： D
自慰経験： 2回	

【高慢】 【非処女】



冒険家見習い

ディア・ヒマリア

134cm 45kg

B65 W55 H68

レーダ・ヒマリアの弟。

冒険家を志すやんちゃな少年。

現在、行方不明。

### △状態記録

胸経験： 0回      胸感度： D

陰茎経験：0回      陰茎感度：C

尻経験： 0回      尻感度： D

自慰経験：0回

【活発】 【童貞】



# 《淫靡の称号》

科学・魔術的如何な技術でも  
元には戻せない刻まれた淫蕩録

## 【 性欲初心者 】

コントロールできない性欲を  
もてあまし尻穴や露出を試みる  
変態界期待のニューフェイス

## 【 見られたい心 】

他人に恥ずかしい自分の姿を  
見られると汗と愛液がドバドバ  
溢れ、興奮するマゾ雌女の証

## 【 ぷっくりおまんこ 】

ふっくらとした体つきに違わぬ  
わずかに膨らんだおまんこ。その  
実、ピラピラは小ぶりで慎ましい

## 【 貞淑な精神 】

性欲に蝕まれようと清い心で  
あろうとする心的反抗。快樂に  
抗い、喘ぎ声には恥じらいを含む



「あら お目覚めかしら♡  
女の子みたいな  
プリティボーイ♡」

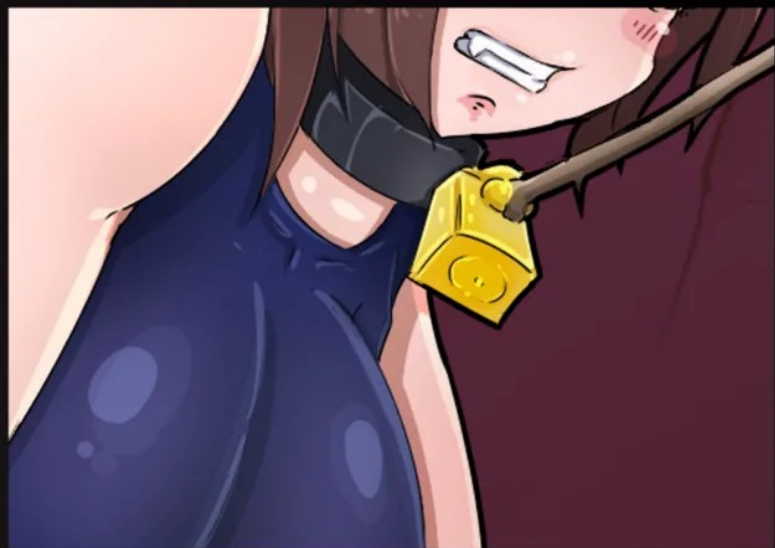
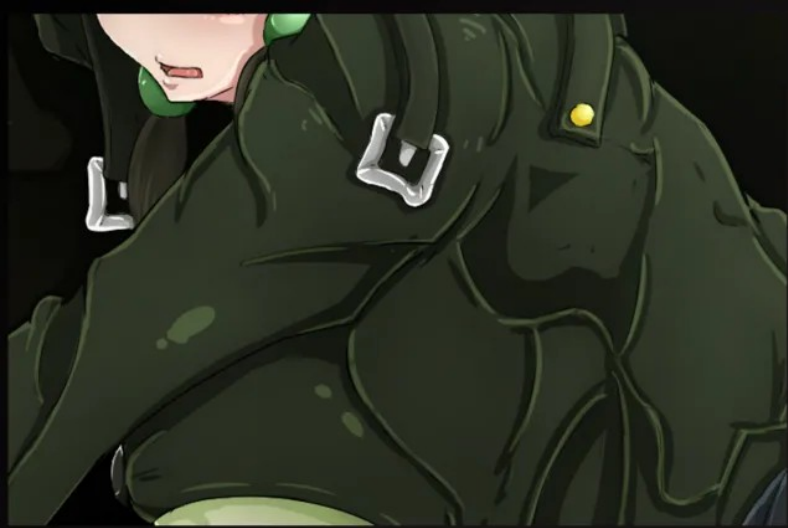


甘ったるい空気  
遠くに響いている嬌声  
ここは淫虐に支配された空間

「おおおお」



「ハロー」





お か い あ げ

あ り が と う ご ざ い ま す ▼

か う

う る

は な す

ぞ る